

**DEUTSCH — LEICHT ZU VERSTEHEN
UND INTERESSANT**

はじめての人にピッタリの学習法

ドイツ語が 面白いほど 身につく本

アーベーツェー

ABCから日常会話まで

岩井清治 中野久夫

中経出版

ドイツ語は堅くもないし難しくありません

★これがドイツ語をやさしく学ぶ2つのコツです

読者の皆さんは、ドイツ語についてどんなイメージをお持ちですか。堅くてユーモアに欠けるというのがヨーロッパ人のドイツ人評だそうですが、言葉のほうもやたらと規則に忠実で理屈っぽいというイメージが強いのではないのでしょうか。

この本はそんな堅いイメージを刷新し、とにかくやさしくドイツ語が学べるように工夫しました。ドイツ人の中にも、ユーモアたっぷりのイギリス人に負けないほど機知に富んだ人がたくさんいます。当然のことですが、ドイツ語にもよく使われるやさしい、くだけた表現があります。まず最初にこれらを暗記してしまうことです。文法はそのあとで納得できればよいと考えてください。その意味で、文法の説明はできるだけ簡略にしています。それがドイツ語をやさしく学ぶ第1のコツです。

この本の第2の特徴は、構文や表現をたくさんおぼえようとして結局すべてうろおぼえになるよりも、重要な文だけを確実に暗記して、実践に役立つドイツ語をマスターできるように構成になっていることです。日本語訳と同時にドイツ語の表現が自然に口から出てくるようになるには、毎日の繰り返しが大切です。1つの表現を暗記して実際に

使えるようにするためには、その表現を100回繰り返して言うことと、その表現を毎日1回口に出して練習する、それを1カ月続けることが必要です。それが続けば、その表現は忘れようと思っても忘れられない財産としてあなたの身につくのです。そうやってドイツ語の実力を確実に高めていきましょう。

★大丈夫、カタカナ発音で十分通じます

ネイティヴが話すドイツ語、とりわけ女性の発音は、非常にきれいに素直に聞こえます。しかし、外国人である日本人の発音には自ずと限界があります。

これは、仕方のないこととあきらめて、発音練習の時間を暗記のための口頭練習に振りかえるほうが得策です。しっかり暗記できているものは大声で発音できます。相手に通じないとなげく人がよくいますが、実は声が小さいという場合が多いのです。声が小さくては日本語でも通じませんよ。

★ドイツ語に親しみ、ドイツの社会に親しみましょう

強いマルクを持つドイツ語圏と、同じく強い円を持つ日本語圏は今や世界経済の二大勢力にまで成長しました。両国の相互交流は、これから一層促進されることはあっても、衰えることはありません。マイスターに支えられている技術、整然とした住宅と街並み、少ない労働時間と長い休暇、職住接近した環境、いっせいに守られる閉店時間等々、ド

この本と別売カセットの使い方

はじめてドイツ語を勉強する人は、最初から読んでください。「魚」は英語で fish, ドイツ語では Fisch, “This is a book.” は “Das ist ein Buch.”。ドイツ語と英語は単語も構文もよく似ています。この本の中には英語もたくさん添えてありますので、比較しながらドイツ語をおぼえていってください。

また外国語学習には、ネイティブの発音に親しむことが必要です。本書に出てくる単語や構文をドイツ人が吹き込んだカセットが、別売されています。繰り返し聞いて、英語の発音との違いを習得してください。

大学でドイツ語を選択したけれども単位が心配、という学生さんは、3章の「文法の基礎を身につけよう」と5章の「やさしい文章に挑戦しよう」をしっかりと読み、カセットで聞いてください。

本書のユニークな点は、4章の「簡単な会話をマスターしよう」の部分が“レストランでは”、“ホテルのフロントでは”といった状況別にまとめられていて、ドイツ人との会話に明日からでも役に立つことです。会話を身につけたい方は、入門書と会話手帳がいつしよになった本書を、ぜひ試してみてください。短期間でドイツ語の実力がつくこと、請合いです。

●目次

はじめに／ドイツ語は堅くもないし難しくありません	1
この本と別売カセットの使い方	4

1 発音の仕方を学ぼう

11

基礎編 1 発音の仕方の基本原則

12

発音は大部分がローマ字方式	12
ドイツ語らしい発音のポイント	14
-ch, -sch, -tsch 等の発音	15
鼻にかかる ng の発音	17
r は舌先を震わせて発音	18
2種類の発音を持つ語：e, i, o, u	19
のばして読む音	21
変母音の発音	22
特殊な発音：au, ei, eu, äu	23
そのほか注意すべき発音	24

基礎編 2 ^{ダ ス アルファベット} アルファベット (Das Alphabet)

26

アルファベットは26文字	26
--------------------	----

2 基本単語をおぼえよう

29

基礎編 3 まずはドイツ語に慣れよう

30

Universität に通うK君	30
-------------------------	----

Ausland に来た Anna	32
Anna は glücklich ではない	34
Anna の故郷は Schweiz	36
Anna の Arbeit	38
K 君が書くドイツ語の Brief	40
Anna とその Vater	42

基礎編 4 すぐに役立つ単語をおぼえよう..... 44

国・国民（ドイツ、ドイツ人 etc）	44
言葉（ドイツ語、英語 etc）	46
親族名（両親、父 etc）	47
形容詞（大きい、小さい etc）	49
動詞（あいさつする etc）	51
自然に関する単語（星、山 etc）	54
身体に関する単語（腕、足 etc）	56
家の周辺の単語（屋根、庭 etc）	58
部屋の中の単語（机、いす etc）	60

3 文法の基礎を身につけよう 63

基礎編 5 名詞・動詞・形容詞・前置詞の用法 64

1 英語と関連づけてドイツ語を学ぼう	64
2 人称代名詞の変化	67
3 名詞にはすべて性がある	71
4 名詞は格変化する	74
5 動詞の人称変化	79
6 形容詞にも性・数・格がある	83
7 前置詞の格支配	89
8 これまでのまとめをしよう	94
9 疑問代名詞 was と wer	98

10	関係代名詞 der と was	103
11	話法の助動詞	107

基礎編 6 動詞の過去・未来・受動・完了を学ぼう ...111

12	動詞の過去形	111
13	過去分詞	115
14	未来形と受動態をつくる werden	117
15	現在完了	121
16	過去完了	126
17	未来完了	129
18	再帰動詞	132
19	非人称動詞	135
20	分離動詞	137
21	数字の読み方	140

4 簡単な会話をマスターしよう ...145

実用編 1 旅行もホームステイもまずこれから ...146

会話の基本となる言葉	146
会話の基本となる表現	148
レストランで	151
街角で	155
駅の窓口で	158
デパートなどの店内で	160
ホテルのフロントで	163
ビジネス上の表現	166

5 やさしい文章に挑戦しよう169

実用編 2 ドイツ語の勘を養っていこう170

彼は日本人ですか	171
いま彼はドイツ語を学んでいます	171
すばらしいクリスマスと幸福な新年を	172
よい本はよい友である	172
その年老いたヘルガ嬢は少し近視です	172
スイス人はたいてい、ドイツ語だけでなく フランス語も話します	173
お邪魔になりますか	174
私のクラスに今週新しい先生が来ます	174
毎日曜日の11時にブラウン氏は彼の庭へ行き、 その草の上の青い椅子に座ります	175
今日は、市場では何があるのですか	176
私たちはすでに300のドイツ語の単語を知っています	176
以前はそこに何が建っていたんですか?	178
クラウスはサラリーマンです	178
工業技術は人間をこの地球の主人にしましたが、 それは人間を機械の奴隷にもしたのです	179
あなたがドイツにいたときに、何を研究されましたか	180
テロリストたちがフランクフルトを爆撃した	180
誰といっしょに行ったのですか	181
彼は来年スイスへ行くでしょう	181
明日には私の手紙は、おじのもとに届いているでしょう	182
私がようやく駅についたときには、 汽車はもう出てしまっていました	182
生きているすべてのものは、一度は死ななければなりません	183
この小説は英語で書かれ、ドイツで出版されました	183

妻が重く病んでいるその男は、彼女を病院に訪ねます	184
彼は毎朝窓を開けます	185
どうぞ私に紅茶を1杯もってきてください	185
私に紅茶を1杯もってこい！	186
つぎのハンプルフ行きの汽車がいつ発車するのか、 知りたいのです	187
これでいかがでしょうか	189
これがいいです	189

おぼえたことを再確認！

練習問題 1	66	練習問題11	110
練習問題 2	70	練習問題12	114
練習問題 3	73	練習問題13	116
練習問題 4	78	練習問題14	120
練習問題 5	81	練習問題15	125
練習問題 6	88	練習問題16	128
練習問題 7	93	練習問題17	131
練習問題 8	97	練習問題18	134
練習問題 9	102	練習問題19	136
練習問題10	106	練習問題20	139

カバーデザイン／佐藤 幹

本文イラスト／成田初男

1

発音の仕方を学ぼう

ドイツ語の発音は、英語の **neighbor** (ネイバァ・隣人) や **dozen** (ダズン・1ダース) といった面倒なものにくらべると、はるかに規則的です。

しかし、文字を見てそれがきちんと発音できるようになるためには、いくつかの規則をおぼえることが必要です。この章ではそうしたドイツ語の発音のきまりを学んでいきます。

発音の仕方の基本原則



発音は大部分がローマ字方式

まず最初にドイツ語の発音の基本を学びましょう。

ドイツ語の単語は、大部分がアルファベットそのままに発音されます。日常でもよく使われる身近な単語を例に挙げて説明していきましょう。なお、ドイツ語の名詞は文中でも大文字で始まる規則ですので、英語よりも意味がとりやすいと言えます。

たとえば、綴りが英語と同じ **Finger** (指) は、「フィンガァ」と発音します。この場合 **-er** は「エル」でなく、軽く「ア」と発音するのです。本書では強く発音する部分を「フィ」のように太字で示すことにします。

これも英語と同じ綴りで自己紹介には欠かせない単語 **Name** (名前) は、英語のように「ネイム」とは発音しないで、ローマ字どおりに「ナーメ」と発音します。

ドイツ人のいこいの場である **Park** (公園) は「パーク」ではなく、「パルク」というように、**-r** が「ル」の発音になります。

英語とは微妙に綴りの異なる **Onkel** (おじ)、この「オンケル」の「ケ」は、**Name** の「メ」と同様、軽く発音します。発音記号は [ónkel], [ná:me] でなく, [ónkəl], [ná:mə] になります。

また、「フィンガァ」、「ナーメ」、「パルク」、「オンケル」
とも、いずれも第1音節の「フィ」、「ナ」、「パ」、「オ」が
強く発音されます。このようにドイツ語のアクセントは原
則として第1音節にあります。

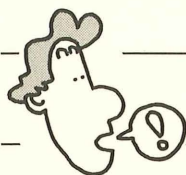
ちなみに、上の単語を発音記号で示すと以下のような
ります。

Finger [fɪŋər] ←フィンガァ

Name [ná:mə] ←ナーメ

Park [park] ←パルク

Onkel [ɔŋkəl] ←オンケル



ドイツ語らしい発音のポイント

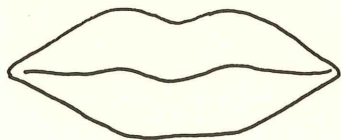
お菓子としておなじみの **Baumkuchen** (バウムクーヘン) の Baum は木という意味で、「バオム」と読みます。

ここで注意しなければならないことは、Baum の m が mu ではなくて m、つまり子音であることです。

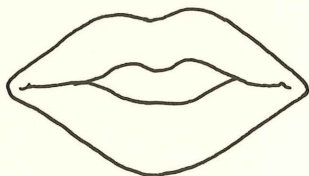
ドイツ語だけでなく英語、フランス語でも同じことですが、**m** は **ma** (マ) ・ **mi** (ミ) ・ **mu** (ム) ・ **me** (メ) ・ **mo** (モ) から **a・i・u・e・o** をのぞいた音と意識して発音するとよいでしょう。

この発音の仕方に注意しただけでも、かなり外国人らしい発音に近づきます。

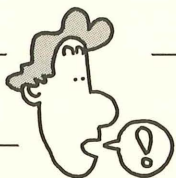
m の発音の仕方



mu の発音の仕方



mu のときは **m** のときよりも上唇も下唇も丸くなるので要注意！



-ch, -sch, -tsch 等の発音

ドイツ語の発音は大変規則的で、あるきまりさえおぼえてしまえば、ごく簡単に読めるものです。ここではドイツ語の発音の基礎の基礎的なきまりを、英語の発音と対比して項目ごとに説明していきます。

1 sch (シュ) の発音

fish (英・魚) → **Fisch** [フィッシュ, fɪʃ]

Fisch のほかに, **sch** [ʃ] の発音を持つ単語をいくつか挙げると,

Schule (シユーレ, {ú:lə, 学校)

Schein (シャイン, {am, 輝き)

Schönheit (シエーンハイト, {ø:nhait, 美)

2 -tion (ツィオーン) の発音

nation (英・国民) → **Nation** (ナツィオーン, natsi:ɔ:n)

3 j (ヤ行) の発音

j は「ジ」ではなくて, 「ヤ行」の発音になります。

Japan (英・日本) → **Japan** (ヤーパン, já:pan)

4 a, o, u, au のあとの -ch の発音

a, o, u, au のあとに来た **ch** は「ハ・フ・ホ」等と発

音します。これは、日本語よりも強い、のどから出す摩擦音です。たとえば、

Nacht (ナハト, naxt, 夜)

Loch (ロツホ, lox, 穴)

Buch (ブーフ, bu:x, 本)

auch (アオホ, aux, また)

5 a, o, u, au のあと以外は -ch (ヒ) の発音

英語では -ch は teach(ティーチ, 教える)や church(チャーチ, 教会)のように、「チ」と発音しますが、ドイツ語では a, o, u, au のあと以外の **-ch** はすべて「ヒ」と発音します。

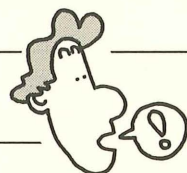
church (英) → **Kirche** (キルヒエ, kírcə)

6 -tsch (チ) の発音

ch (ヒ) に s を加えると sch (シ) になり、さらに t を加えると tsch (チ) になります。**ch (ヒ) → sch (シ) → tsch (チ)**とおぼえてください。ただし、tsch がつく単語はそうたくさんはありません。つぎのようなものだけです。

Deutsch (ドイツ, dɔʏtʃ, ドイツ語)

Tschechoslowakei (チェヒョスロヴァカイ, tʃɛçoslovakái, チェコスロヴァキア)



鼻にかかる ng の発音

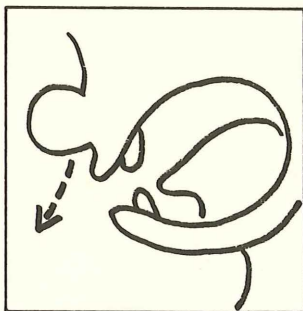
ng は、英語の good の「グ」ではなく、king の「グ」に近い発音になります。

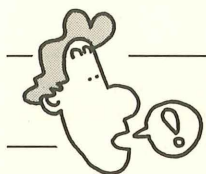
Anfang (アンファング, ánfang, 始まり)

Angst (アングスト, angst, 不安)

この音を発音する場合、下の図のように、呼気が鼻に抜けます。

[ŋ] の発音の仕方





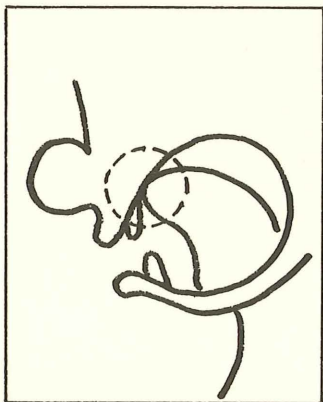
r は舌先を震わせて発音

r は [r] の発音記号で示し、舌先を歯ぐきに当てて震わせ、英語の **r** よりも少し強く発音します。この [r] のほかに [R] の記号を用いることもあり、のどびこを震わせて出す音を示します。これはハやホに近い音になります。しかし、この音はドイツ人固有の発音で、一般には [r] と [R] の区別はされていません。

Regen (レーゲン, ré:gən, 雨)

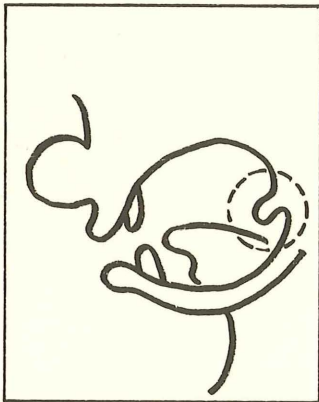
rot (ロート, ro:t または Ro:t, 赤い)

[r] の発音の仕方

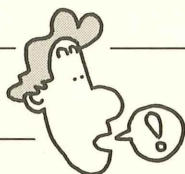


舌先を歯ぐきにあって
震わせる

[R] の発音の仕方



のどびこを震わせる



2種類の発音を持つ 語：e, i, o, u

1 e (e:, エー) と e (ɛ, エ)

[e:] は、唇の両はしを左右にひっぱり、「イ」に近い「エ」を発音します。

Ehre (エーレ, é:rə, 名誉)

geben (ゲーベン, gé:bən)

[ɛ] は上の [e:] よりも口をタテの方向に開いて、日本語の「エ」に近い発音をします。

essen (エッセン, é:sən, 食事をする)

Element (エレメント, elemént, 要素)

この Element はラテン語からの外来語です。外来語にはアクセントが第1音節にないものが、多く見られます。

2 i (i:, イー) と i (ɪ, イ)

[i:] は「イー」を、唇の両はしを左右に強くひっぱって発音します。

Tiger (ティーガア, tí:gər, 虎)

Sie (ズィー, zɪ:, あなた)

ie は「イエ」でなく「イー」と発音します。

[ɪ] は日本語の「イ」と似た発音です。

Fisch (フィッシュ, fɪʃ, 魚)

3 o (o:, オー) と o (ɔ, オ)

[o:] は口を丸くし、唇を突き出して「オー」と発音します。

Brot (ブロート, bro:t, パン)

Ton (トーン, tɔ:n, 音調)

[ɔ] は口を小さく開いて、「オ」と発音します。

Folge (フォルゲ, fɔlgə, 結果)

Form (フォルム, fɔrm, 形)

4 u (u:, ウー) と u (ʊ, ウ)

[u:] は、口を突き出して「ウー」と発音します。

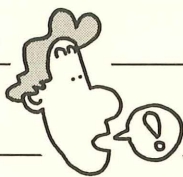
gut (グート, gu:t, よい)

suchen (ズーヘン, zú:xən, さがす)

[ʊ] は「ウ」を、[u:] よりももつと口を開いて発音します。

Gunst (グンスト, gunst, 好意)

Hunger (フンガァ, huŋəɾ, 空腹)



のばして読む音

1 ie (i:) と母音+h

Liebe (リーベ, lí:bə, 愛)

Ehre (エーレ, é:rə, 名誉)

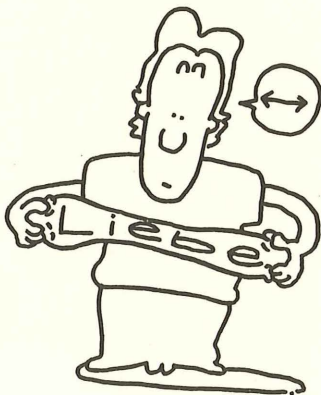
gehen (ゲーエン, gé:ən, 行く)

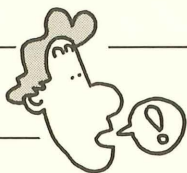
2 母音が重なった場合: aa, ee, oo

Haar (ハール, harr, 髪)

leer (レーア, ler, からっぽの)

Moosrose (モースローゼ, mo:sro:zə, こけぼら)





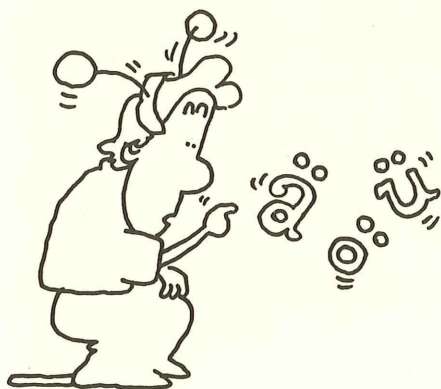
変母音の発音

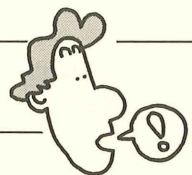
a, o, u にウムラウト (Umlaut, 変母音) がついて、a の口で「エー」と発音する **ä** (エー), o の口で「エー」と発音する **ö** (エー), u の口で「イー」と発音する **ü** (ユー) があります。これはドイツ語の中でも特殊なものです。

Hände (ヘンデ, héndə, Hand・手の複数形)

Schönheit (シエーンハイト, {ø}ínhait, 美)

küssen (キュッセン, kýsən, キスする)





特殊な発音： au, ei, eu, äu

1 au の発音

au は英語やフランス語のように「オー」とは読まず、「アウ」または「アオ」と発音します。本書では「アオ」を採用します。

Auge (アオゲ, áugə, 目)

Baum (バオム, baum, 樹木)

2 ei の発音

ei は「エイ」とは発音せず、かならず「アイ」と発音します。

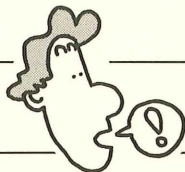
nein (ナイン, nain, いいえ)

3 eu, äu の発音

eu はかならず「オイ」と発音し、また au の a にウムラウトがついた **äu** も「オイ」と発音します。

Feuer (フォイア, fɔʏər, 火)

Bäume (ボイメ, bóymə, Baum・樹木の複数形)



そのほか注意すべき発音

1 音節末の b, d, g は, p, t, k と発音

音節末の **b** は p と, **d** は t と, **g** は g または k と発音します。

Laub (ラオブ, laup, 木の葉)

Abend (アーベント, á:bənt, 夕方)

[ɪ] は i (i:) よりも口を開いて短く発音します。

Mißerfolg (ミスエアフォルク, míserfolk, 失敗)

ただし ing や ung はそのまま発音します。

Frühling (フリュERING, frý:liŋ, 春)

2 英語の発音と異なる j, v, w, z

j は英語の y の, **v** は f の, **w** は v の, **z** は ts の発音になります。

Japan (ヤーパン, já:pan, 日本)

Volk (フォルク, fɔlk, 民族)

Wasser (ヴァッサア, vásər, 水)

zentral (ツェントラール, tsentrá:l, まんなかの)

3 母音のまへの s は濁り, ss は濁らない

Sonne (ゾンネ, zónə, 太陽)

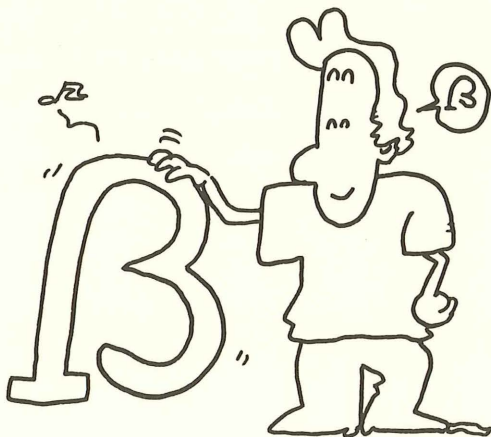
müssen (ミュッセン, mýsən, ～せねばならない)

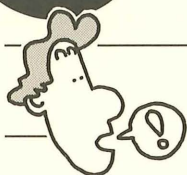
ss は母音にはさまれたときだけ用いられ、それ以外のときは **ß** (エス・ツェット) が用いられます。

4 語の最初の st は「シュト」の発音

stehen (シュテーエン, {tɛ:ən, 立つ)

Stein (シュタイン, {tam, 石)





アルファベットは26文字

アルファベットは、英語と同じ活字体、同じ筆記体が用いられます（しかし、古くには下に示したドイツ字体が用いられていました）。

ただし、いまでも昔も変わりなく、ドイツ語には英語にないウムラウトがついたものと、エス・ツェット (ß) が余計にあります。

Ä ä	ÿ ÿ	[ɛ:] エー
Ö ö	ÿ ÿ	[ø:] エー
Ü ü	ÿ ii	[y:] ユー

ウムラウトについては22ページで説明しましたが、大切なことなのでもう一度繰り返すと、a の口で [エー]、o の口で [エー]、u の口で [イー] と発音する文字です。

A	a	[a:] アー	N	n	[ɛn] エン
B	b	[be:] ベー	O	o	[o:] オー
C	c	[tse:] ツェー	P	p	[pe:] ペー
D	d	[de:] デー	Q	q	[ku:] クー
E	e	[e:] エー	R	r	[ɛr] エル
F	f	[ɛf] エフ	S	s	[ɛs] エス
G	g	[ge:] ゲー	T	t	[te:] テー
H	h	[ha:] ハー	U	u	[u:] ウー
I	i	[i:] イー	V	v	[faʊ] ファオ
J	j	[jɔt] ヨット	W	w	[ve:] ヴェー
K	k	[ka:] カー	X	x	[iks] イクス
L	l	[ɛl] エル	Y	y	[ýpsilon] ユプサイロン
M	m	[ɛm] エム	Z	z	[tsɛt] ツェット

この26文字に ä・ö・ü・ß を加えて、アルファベットを30とする場合もあります。

発音の規則を身につけながら、同時に
単語の意味も学んできました。どれくら
いの数の単語がおぼえられましたか。

つぎの2章では、ドイツ語の基本単語
を勉強しましょう。

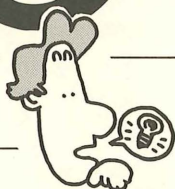


2

基本単語をおぼえよう

1章での発音の勉強はいかがでしたか。

この2章はぐっと趣向が変わり、物語を読み、イラストを見ながら自然に単語がおぼえられるようになっていきます。さあ、楽しみながらの学習を始めましょう。



Universität に 通うK君

この章では、**Universität** (ユニヴェルズィテート・大学) で **Deutsch** (ドイツ・ドイツ語) を学ぶ男子学生のK君 (彼は私の教え子です) の物語に沿ってドイツ語の単語を学んでいきましょう。場合によっては文法のきまりの初歩の初歩も登場します。

1 年前期のドイツ語の授業でK君は、文法の規則の洪水に音^ねをあげ、夏休みが始まるまでにたった4回しか講義に出席しませんでした。後期が始まるとすぐ、テストがあります。

都心に住んでいるK君は、たまたますぐ近くの **Wohnhaus** (ヴォーンハース・住宅) に住むドイツ語を話すスイス人女性と知り合いました (ドイツ語はドイツのほかにオーストリアおよびスイスの一部で使われています)。彼女は日本支社の社員として来日していたのです。

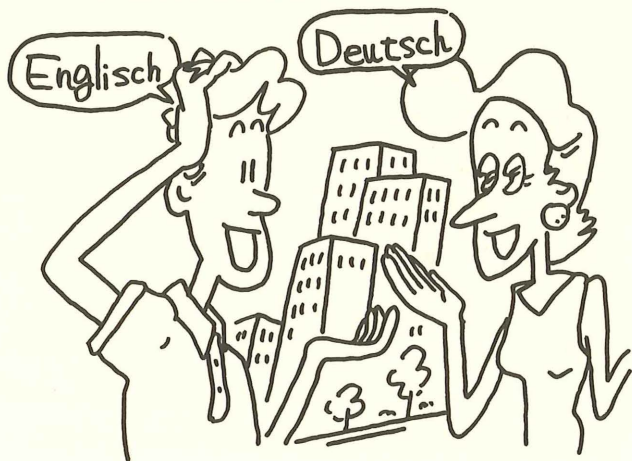
Wohnhaus の **wohn** は **wohnen** (ヴォーネン・「住む」の不定詞) から来た言葉です (不定詞については36ページで説明します)。**Haus** は英語で言えば **house** に相当します。

その **Schweiz** (シュヴァイツ・スイス) から来た女性の名をかりに、**Anna** (アンナ) としておきましょう。

Anna は、Deutsch のほかに **Französisch** (フランツエーズィッシュ・フランス語) も話した、と K 君は言います。ただし、**Englisch** (イングリッシュ・英語) は知らなかったそうです。

そこで K 君と Anna はドイツ語と英語をたがいに教え合うことにしました。

外国人に **Fremdsprache** (フレムトシュプラーヘ・外国語, Fremd は foreign で Sprache は language) を習うには、相手が異性であるにかぎるといわれます。K 君と Anna とのあいだに **Verhältnis** (フェアヘルトニス・恋愛関係) が成立しなかったにせよ、彼女が **Liebe** (リーベ・好意) をもってドイツ語を教えてくれたことは確かでしょう。K 君にしても同様です。とにかく 2 人のドイツ語と英語の交換教授は大きな成果をあげたようです。K 君は後期のドイツ語のテストを見事にクリアしたのですから。





Ausland に来た Anna

親密さが増すにつれ、Anna はK君にプライベートなことも話すようになりました。そしてある日、彼女は自分が **Scheidung** (シャイドゥング・離婚) した身であることを告白しました。 **scheiden** (シャイデン・離婚する) が不定詞で、その名詞が **Scheidung** です。

彼女が **Heirat** (ハイラート・結婚) したのは、今から3年まえでした。それが **Scheidung** にいたったのは、彼女の **Mann** (マン・夫) が他の **Frau** (フラオ・女) を妊娠させたのが原因だったということです。

その告白はとてもショックだった、とK君は語りました。自分のドイツ語の家庭教師である、知的で美しい女性から、突然なまなましい過去を告白されたのですから当然でしょう。

日本でも「未婚の母」という言葉が一時期はやりましたが、相手の女性は Anna や Anna の夫の言葉を聞き入れず、強引に子供を産んだのだそうです。Anna にはまだ子供がおらず、夫の愛人が出産したことは **Tod** (トート・死) を考えるほどの **Krise** (クリーゼ・危機) だったと述懐したそうです。

Anna も Anna の夫も、 **Abtreibung** (アプトライブング・妊娠中絶) してくれることを望んだのだが、相手の女性が出産に踏み切ったことで結局離婚せざるを得なくなっ

た——Anna はK君にそう話し、K君もその言葉を信じた
ようです。

そんな心の傷も関係して、Anna は離婚後すぐに **Aus-
land** (アオスラント・外国) である **Japan** (ヤーパン・日
本) へ来たのでした。





Anna は glücklich ではない

Anna が K 君にドイツ語を教え、そのお返しに K 君が Anna に英語を教えていくうちに、2 人はつぎのような会話もできるほどになりました。

Ich bin nicht glücklich.

イッヒ ビン ニヒト グリュックリッヒ

→ I am not happy.

訳 私は幸せではない。

この言葉はもちろん、Anna が夫の浮気で苦しんだことをさします。

Ich bin にあたる英語は I am で、**nicht** は not です。**glücklich** (幸福な) を「幸福」という名詞にするには、lich をとって **Glück** (グリュック) とすればよいのです。

彼女のそんな言葉に K 君はとても気のきいた返事をしました。

Sie sind noch jung.

ズイー ズイント ノッホ ユング

→ You are still young.

訳 あなたはまだ若い。

「まだ若い」というのは、女性にとって **wirkungsvoll** (ヴイルクングスフォル・効果的な) な慰めの言葉となります。

Wirkung は「効果, 作用」, **voll** は英語の full にあたりますから, **wirkungsvoll** は「効果がいっぱい」の意味の形容詞になります。

Sie sind nicht glücklich, aber (Sie sind) noch jung.

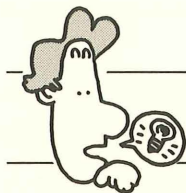
ズイー スイント ニヒト グリュックリッヒ アーバー ズイー スイント ノッホ ユング

(aber=英・but)

☞ You are not happy, but (you are) still young.

訳 あなたは幸せではない, しかし (あなたは) まだ若い。





Anna の故郷は Schweiz

Ich komme aus der Schweiz.

イッヒ コメ アオス デア シュヴァイツ

➡ I come from Switzerland.

訳 私はスイスから来ました。

アンナのこの言葉を使って、ここでは簡単にドイツ語の動詞について説明してみましょう。

ドイツ語の動詞は文章の主語に合わせて変化します。これは日本語にはみられない大きな特徴です。この変化を人称変化と呼び、人称変化した動詞を定動詞（主語が定まった場合の動詞）と呼びます。

それに対して、動詞の基本となるまだ変化していない形の動詞を不定詞と言います。

komme の不定詞は, kommen (コメン) です。ドイツ語の動詞の大部分は不定詞が **-en** の語尾を持っていますが、なかには **sein** (ザイン) のように **-n** の語尾のものもあります。

sein の定動詞として, Ich bin の **bin** と Sie sind の **sind** がこれまでに出てきました (sein の活用の仕方については 67 ページを参照してください)。Ich bin は英語でいえば I am (私は～である) にあたり, Sie sind は You are (あなたは～である) にあたります。

Meine Heimat ist sehr weit von Japan entfernt.

マイネ ハイマート イスト ゼーア ヴァイト フォン ヤーパン エントフェルント

➡ My hometown is very far away from Japan.

訳 私の家は日本からたいへん遠い。

ドイツ語と英語は単語も語順もよく似ているので、どのドイツ語がどの英語に対応しているかが、すぐわかります。

ist は bin・sind と同じく sein が人称変化したもので、3人称単数の **ist** です。この言葉は意味も形も英語の is によく似ています。





Anna の Arbeit

Meine Arbeit ist sehr schwer.

マイネ アールバイト イスト ゼーア シュヴェーア

➡ My work is very hard.

訳 私の仕事はとても辛い。

Anna はこんなドイツ語も K 君に教えました。学生の K 君にはまだ会社勤めの辛さはわかりません。K 君にとって辛いことといえば、ドイツ語のさまざまな文法上の規則をおぼえることでした。

たとえば、ドイツ語の名詞にはすべて、男性、女性、中性という文法のうえでの性があります。そして名詞につく代名詞や形容詞、冠詞類(英語でいう the や a, an のことです)は皆、名詞の性、数、格に応じて変化するのです(格についてはまたあとで詳しく説明します。ここでは、言葉だけをおぼえてください)。これはドイツ語の大きな特徴の 1 つです。

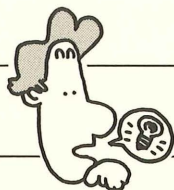
上の文章をみてください。**Arbeit(=work)**は女性名詞・単数形であることから、**meine** という所有代名詞がつくのです。一見とても難しい文法上の規則に思えますが、重要なポイントさえつかんでしまえば、さほど厄介なことではありません。実際 K 君にしても、辛かったのは最初のうちだけで、ドイツ語の勉強を続けるうちに、すっかりこうし

た規則に慣れてしまいました。

さて、文中の **Arbeit** という単語の意味ですが、日本ではすっかり「副業」の意味で使われています。「副業」とドイツ語で言うには、side work にあたる **Nebenarbeit** (ネーベンアルバイト) を使います。これを「ネーベナルバイト」と続けて発音することは、ドイツ語ではあり得ません。

neben は「横の、そばの」という意味の前置詞であり、そのことをはっきりわからせるために、「ネーベン・アルバイト」とわざわざ区切って発音するわけです。





K君が書く ドイツ語の Brief

Die Sonne scheint durch das Fenster.

ディー ゾンネ シャイント ドウルヒ ダス フェンスタア

Gehen wir in den Garten!

ゲーエン ヴィーア イン デン ガルテン

☞ The sun shines through the window. Let's go into the garden!

訳 陽の光が窓を通して輝いています。庭へ出ましょう!

ドイツ語	英語	日本語
Sonne	sun	太陽, 陽の光
scheint	shines	輝いている
wir	we	私たち
in	into	～へ
Garten	garden	庭

ドイツ語では、文中の名詞がすべて大文字で始まるので、意味をとるうえでたいへん便利です。それにしても、「私たち」が *we* と **wir**, 「庭」が *garden* と **Garten** とは何とよく似ていることでしょう。

このときに Anna が K 君に教えたドイツ語は、これまで

の彼女の不幸な身の上話とは打って変わって、いかにも幸せそうです。Anna の心の傷も時の流れとともにいやされてきたのでしょうか。K君の存在も Anna にとって大きかったのかもしれません。

しかし、そんな楽しい2人の交際も、仕事の都合で Anna が帰国することになり1年たらずで終わりを告げました。たとえ短いあいだのレッスンとはいえK君のドイツ語に磨きがかかったことは、今さら言うまでもありません。

その点については Anna も認めて、K君につぎのように言い残しました。

Sie können einen schönen Brief auf Deutsch

ズィー ケンネン アイネン シェーネン ブリーフ アホフ ドイチュ

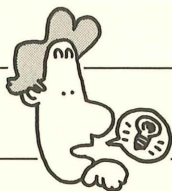
schreiben.

シュライベン

➡ You can write a beautiful letter in German.

㊦ あなたはドイツ語で美しい手紙が書けます。

ドイツ語では、英語と違って助動詞の can と動詞の write とはつながらず、動詞(この場合は schreiben)が文末に来ます。そしてこの「できる」にあたる **können** (= can) は、Ich **kann** (イッヒ・カン, I can) と Sie **können** (ズィー・ケンネン, You can) というように、大きく変化します。



Anna とその Vater

K君にとって Anna という女性は、**unglücklich**(ウングリユックリッヒ・不幸な) な星のもとに生まれた人間でした。運命が彼女を離婚させた、と固く信じていました——K君、そして Anna 自身もです。

しかも、彼女の母親もまた、夫、すなわち Anna の父親と夫婦別れをしていたことがわかり、K君の Anna への同情心はいっそうつのりました。

けれども、K君にくらべたらはるかに広く世の中を見てきた私には、Anna やK君とは別の解釈もできるのです。つまり **Glück** (グリユック・運命) のいたずらというよりも、Anna と母親の **Charakter** (カラクタァ・性格) の問題である、と私には思われるのです。

おとなしい父親と、男まさりの母親。父親を恋人のように感じながら成長した Anna。そして、気が強い妻よりも娘に親しみをおぼえていた気弱な男、Anna の父親。

Sie sagte nichts gegen ihren Vater.

ズィー ザークテ ニヒツ ゲーゲン イーレン ファーター

☞ She said nothing against her father.

☞ 彼女は父親に何の口ごたえもしなかった。

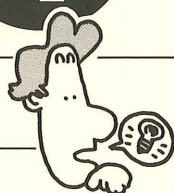
Anna の父親にたいする精神的な結びつきがどのようなものであったかが、この言葉からもうかがいしれます。も

し私の想像が正しいとするならば，Anna は夫よりも父親に性的に惹かれ，**unbewußt** (ウンベヴスト・無意識の) のレベルで父親との思い出に呪縛されていたのです。

この呪縛の心理をもっと具体的に言うと，Anna は夫の背後につねに父親を求めているのです。自分を娘のように庇護してくれるような寛大さを，夫に求めているのです。そのために夫はつねに心に疲労をおぼえ，Anna のほうもつねに心が満たされないように感じていたのです。

K君が Anna を愛するにいたったかどうかは，私にはわかりません。願わくは，Anna の記憶が濃い影を落としているために，K君が将来彼女に似たタイプの悲劇的な女性を妻として選ぶことのないように！



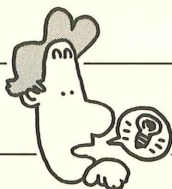


国・国民

はじめに国名と国民名を学びましょう。国民名は男性と女性で違いがあります。

日本語	ドイツ語	
スイス	die Schweiz シュヴァイツ	
スイス人	Schweizer (男性) シュヴァイツァー	Schweizerin (女性) シュヴァイツェリン
ドイツ	das Deutschland ドイチュラント	
ドイツ人	Deutscher, Deutsche (男性・女性) ドイチェア ドイチェ	
イギリス	das England エングラント	
イギリス人	Engländer (男性) エングレンダァ	Engländerin (女性) エングレンデリン
フランス	das Frankreich フランクライヒ	
フランス人	Franzose (男性) フランツォーゼ	Französin (女性) フランツエーシン
イタリア	das Italien イターリエン	
イタリア人	Italiener (男性) イタリエーナァ	Italienerin (女性) イタリエーネリン
スペイン	das Spanien シュパーニエン	

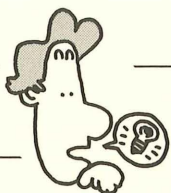
スペイン人	Spanier (男性) シュバーニア	Spanierin (女性) シュバーニエリン
アメリカ (合衆国)	(die Vereinigten Staaten von) Amerika フェアアイニヒテン シュターテン フォン アメーリカ	
アメリカ人	Amerikaner (男性) アメリカーナ	Amerikanerin (女性) アメリカーネリン
日本	das Japan ヤーパン	
日本人	Japaner (男性) ヤーパナ	Japanerin (女性) ヤーバーネリン
ロシア	das Rußland ルスラント	
ロシア人	Russe (男性) ルッセ	Russin (女性) ルッスイン
中国	das China ヒーナ	
中国人	Chinese (男性) ヒネーゼ	Chinesin (女性) ヒネーズイン
韓国	das Korea コレア	
韓国人	Koreaner (男性) コレアーナ	Koreanerin (女性) コレアーネリン



言葉

つぎは各国の言葉ですが、これは主な国だけに限定して挙げておきます。なお、女性名詞で言い表す場合と中性名詞で言い表す場合があるため、それぞれ2種類の言い方があります。

	女性名詞	中性名詞
ドイツ語	die deutsche Sprache ドイツェ シュプラーヘ	das Deutsch ドイツェ
英語	die englische Sprache エングリッシェ シュプラーヘ	das Englisch エングリッシェ
フランス語	die französische Sprache フランツェーゼィシェ シュプラーヘ	das Französisch フランツェーゼィッシェ
ロシア語	die russische Sprache ルスィッシェ シュプラーヘ	das Russisch ルスィッシェ
日本語	die japanische Sprache ヤパーニッシェ シュプラーヘ	das Japanisch ヤパーニッシェ



親族名

夫とか妻とか両親といった親族名をつぎに挙げます。日常的によく使われる単語ですので、しっかりおぼえましょう。

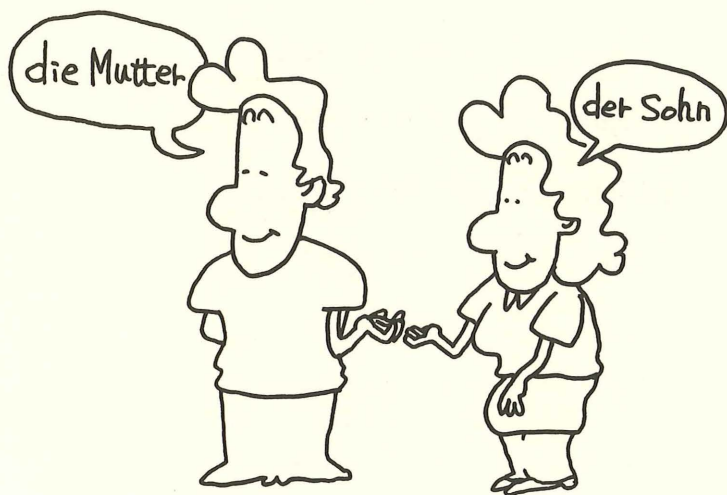
日本語	ドイツ語
両親	die Eltern エルテルン
父	der Vater ファータ
母	die Mutter ムッタ
夫	der Ehemann エーエマン
妻	die Ehefrau エーエフラウ
兄弟(複数)	die Brüder ブリューダー
姉妹(複数)	die Schwestern シュヴェスタアン
子供	das Kind キント
息子	der Sohn ゾーン
娘	die Tochter トホタ
赤ん坊	der Säugling ゾイクリング

おじ

der Onkel
オンケル

おば

die Tante
タンテ





形容詞

基本的な形容詞を、対照的な2つの語をセットにして、つぎに紹介します。

日本語	ドイツ語
大きい・小さい	groß · klein グロース クライン
高い・低い	hoch · niedrig ホーホ ニードリヒ
軽い・重い	leicht · schwer ライヒト シュヴェア
(値が)高い・安い	teuer · billig トイヤー ビリヒ
厚い・薄い	dick · dünn ディック デュン
せまい・広い	eng · weit エング ヴァイト
長い・短い	lang · kurz ラング クルツ
速い・遅い	schnell · langsam シュネル ラングザム
よい・悪い	gut · schlecht グート シュレヒト
正しい・間違った	richtig · falsch リヒティヒ フアルシュ
新しい・古い	neu · alt ノイ アルト
明るい・暗い	hell · dunkel ヘル ドウンケル

楽しい・悲しい	lustig ・ traurig ルスティヒ トゥラオリヒ
簡単な・厄介な	einfach ・ schwierig アインファツハ シュヴィーリヒ
静かな・うるさい	ruhig ・ laut ルーイヒ ラウト
熱い・冷たい	heiß ・ kalt ハイス カルト
太っている・やせている	dick ・ schlank ディック シュランク

このほかに、日常会話でよく使われる形容詞を挙げておきます。

美しい	schön シェーン
親切な	nett ネット
こっけいな	komisch コーミッシュ
壊れている	kaputt カプット
易しい	leicht ライヒト



動詞

36ページで説明したように、動詞の基本となるまだ人称変化していない形の動詞を、ドイツ語では不定詞と呼びます（動詞の意味を辞書で調べる場合も、定動詞を不定詞に直して引かなければなりません）。

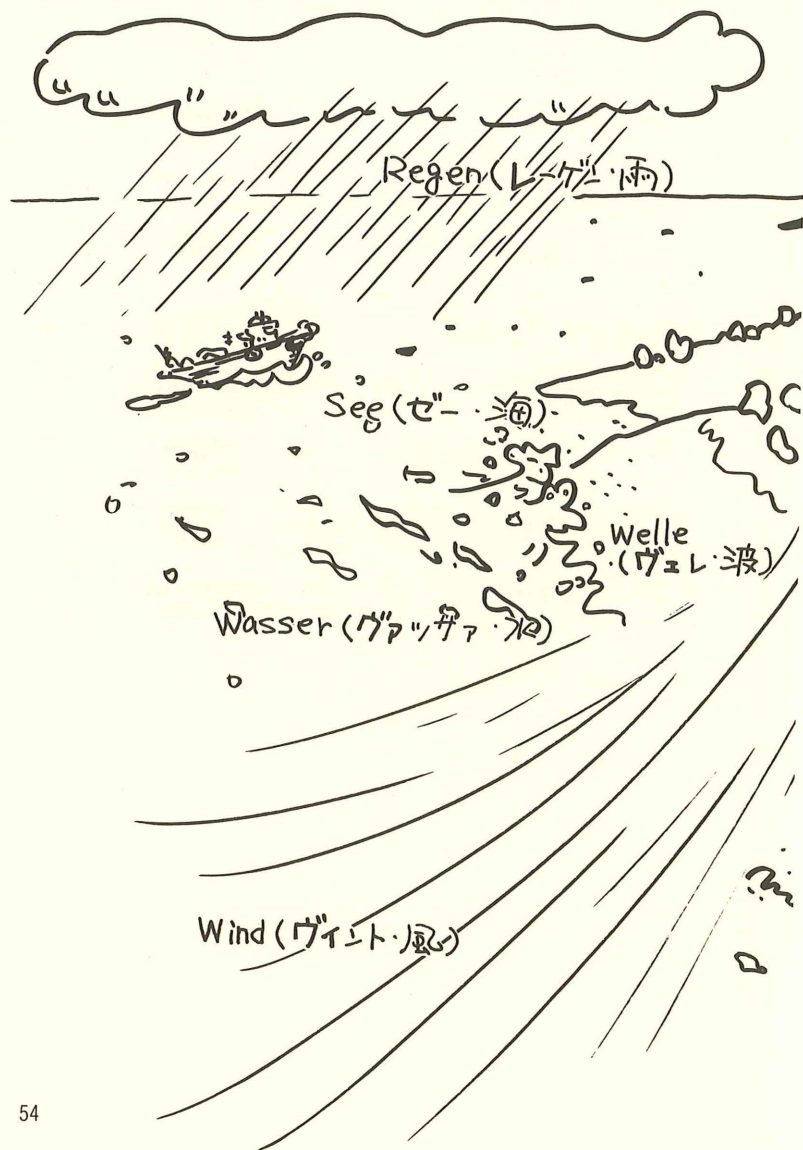
基本的な不定詞を、アイウエオ順にいくつか挙げます。

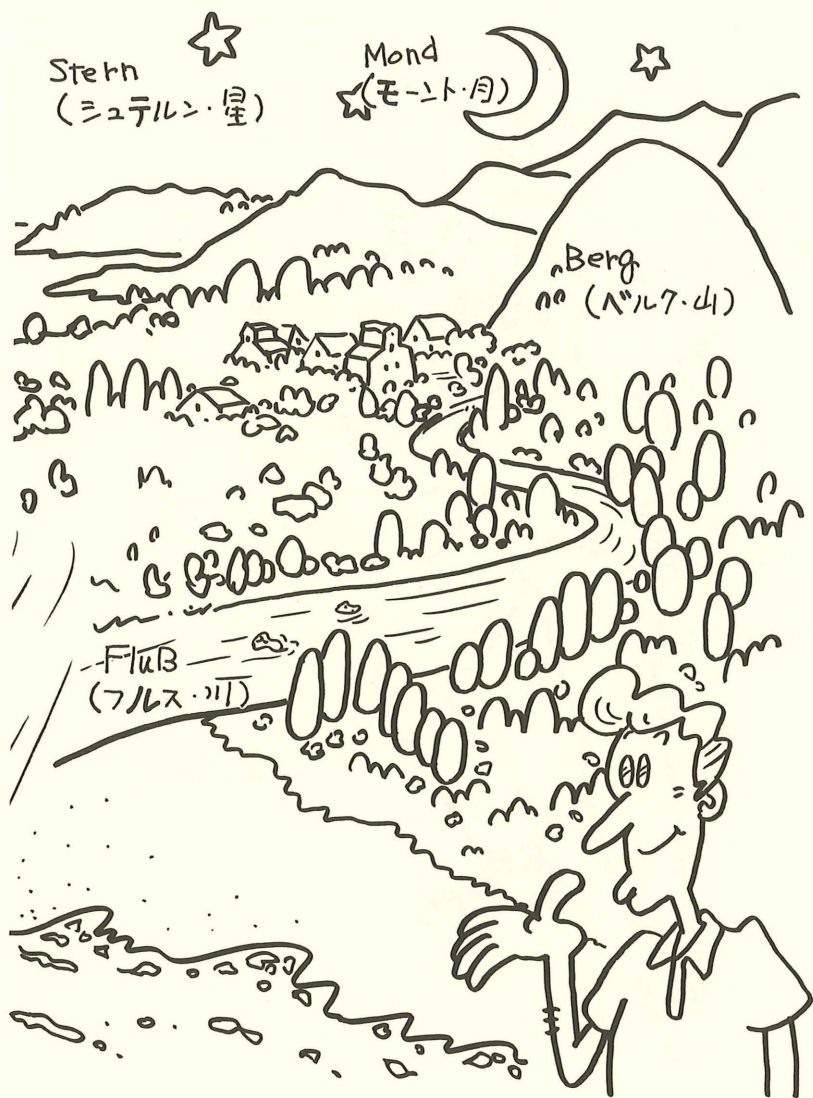
日本語	ドイツ語
あいさつする	grüßen グリューセン
与える	geben ゲーベン
雨が降る	regnen レーグネン
言う	sagen ザーゲン
得る	bekommen ベコメン
起きる	aufstehen アオフシュテーエン
押す	drücken ドゥリュッケン
思う	denken デンケン
買う	kaufen カオフェン
帰る	zurückkehren ツリュックケーレン

書く	schreiben シュライベン
感じる	fühlen フューレン
聞く	hören ヘーレン
決める	sich entschließen ズイヒ エントシュリーセン
見学する	besichtigen ベズイヒティゲン
(人を)知っている	kennen ケネン
知っている	wissen ヴィッセン
死ぬ	sterben シュテルベン
建てる	erbauen エアバオエン
食べる	essen エッセン
使う	benutzen ベヌッツェン
作る	machen マッヘン
飛ぶ	fliegen フリーゲン
取る	nehmen ネーメン
眠る	schlafen シュラーフェン
望む	wünschen ヴュンシェン

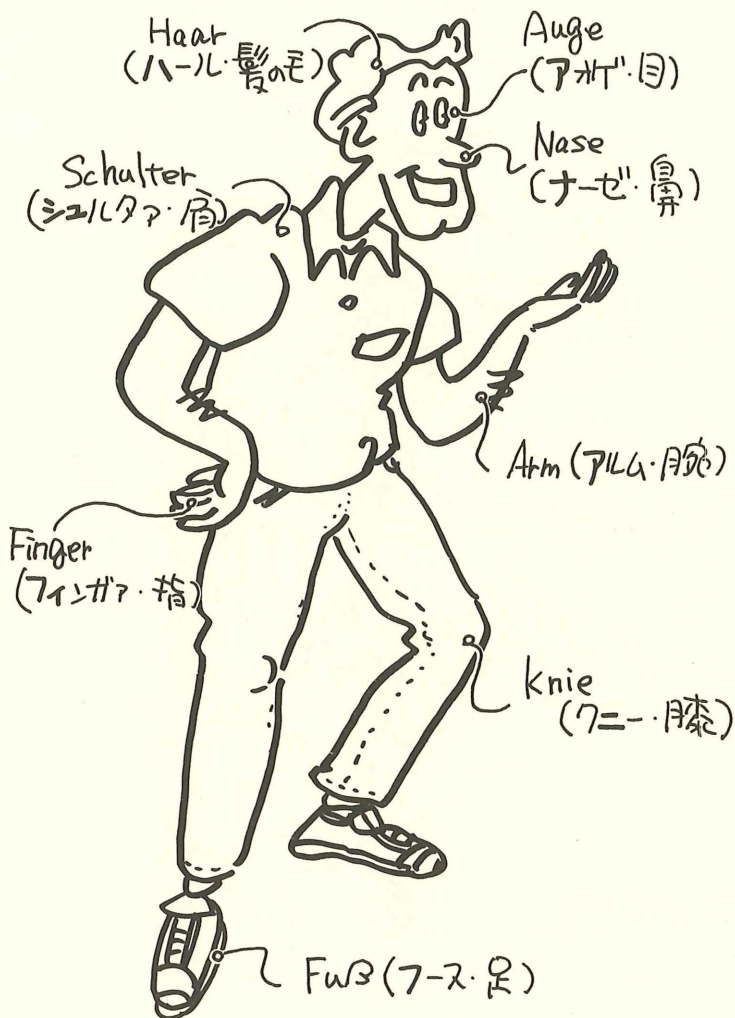
(電車に)乗る	einsteigen アインシュタイゲン
話す	sprechen シュプレッヒェン
必要とする	brauchen ブラオヘン
訪問する	besuchen ベズーヘン
見る	sehen ゼーエン
持っている	haben ハーベン
(乗物で)行く	fahren ファーレン
呼ぶ	rufen ルーフェン
読む	lesen レーゼン
理解する	verstehen フェアシュテーエン

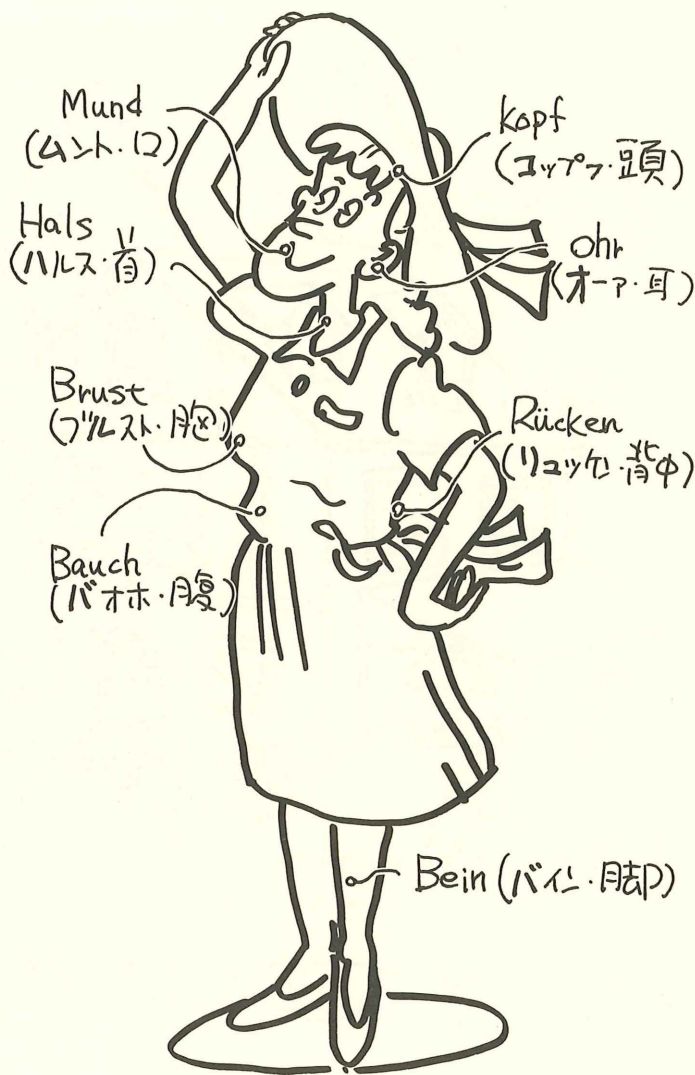
自然に関する単語





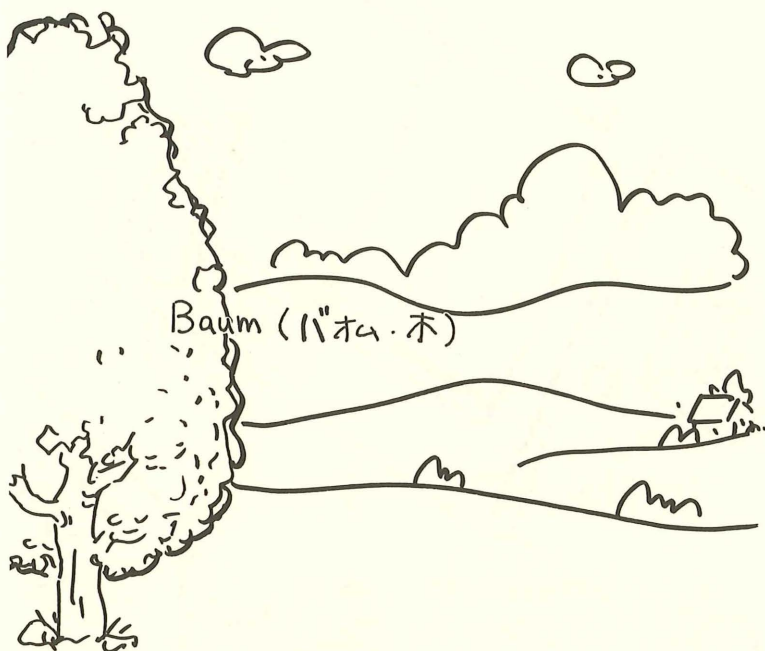
身体に関する単語





家の周辺の単語





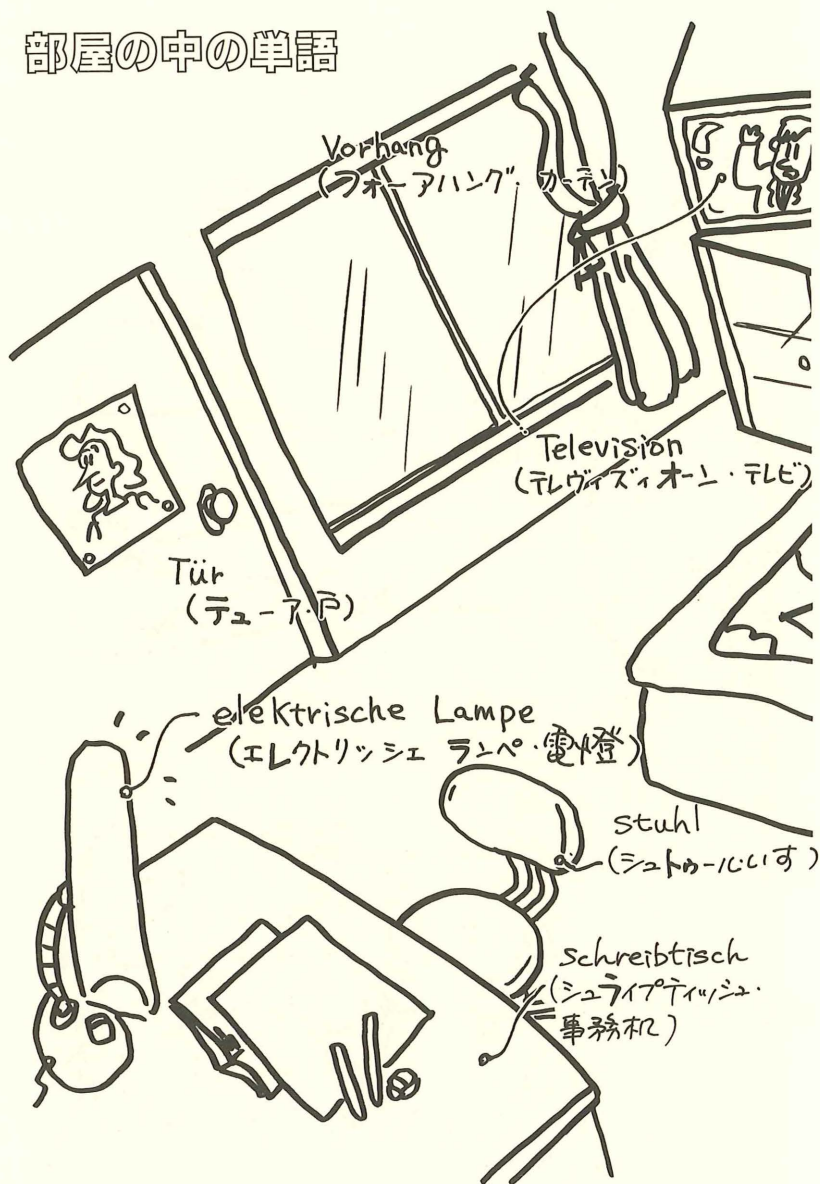
Baum (バウム・木)

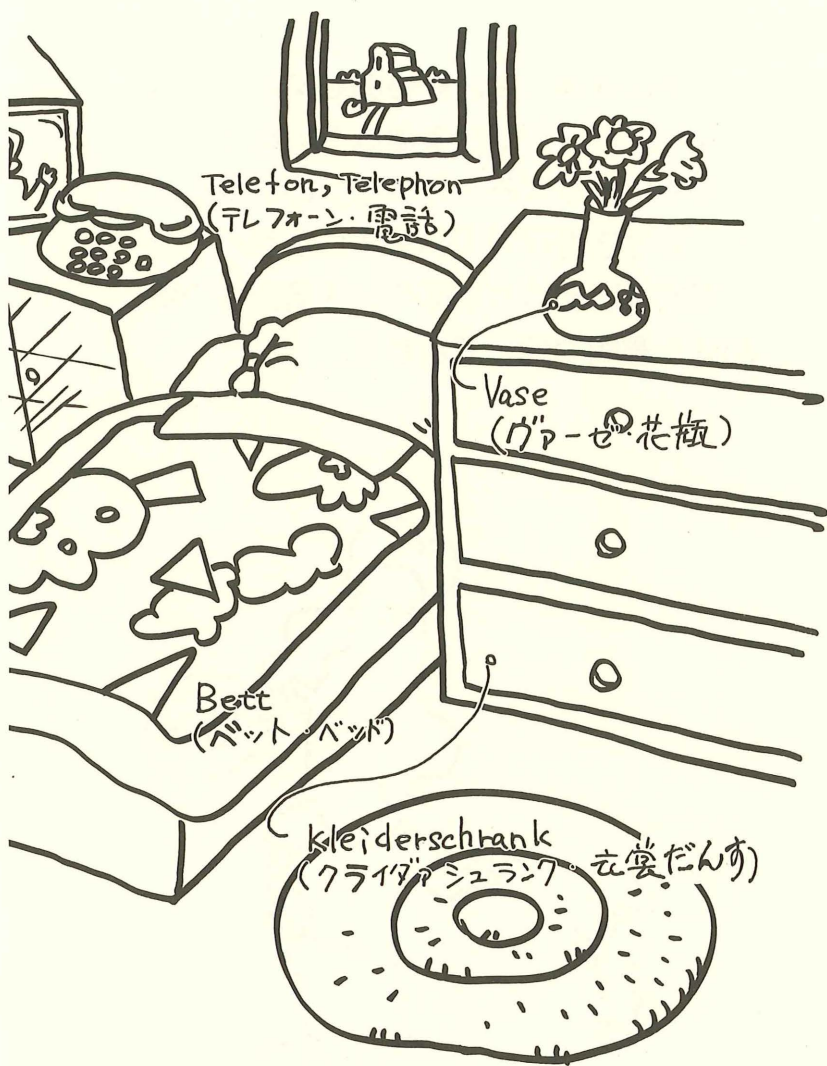
Garten (ガルテン・庭)



Blume
(ブルーム・花)

部屋の中の単語





つぎの3章では、基礎的な文法を勉強します。ドイツ語と英語は文の構造がよく似ていますから、この2つの言語を比較しながらおぼえていきましょう。

項目が21ありますので、3項目ずつ読めば1週間で読了できます。



3

文法の基礎を身につけよう

この3章は、21の項目にわかれています。あせらずじっくりとそれぞれの項目を学んでいきましょう。各項目の終わりにはまとめとして、練習問題がついています。必ずそれを解いてからつぎの項目に進んでください。学生の皆さんは教科書とあわせて勉強するのも、効果的でしょう。



1 英語と関連づけて ドイツ語を学ぼう

つぎに挙げるドイツ語の文の意味がわかりますか。

Ich habe ein Buch. Das ist ein deutsches Buch.

イッヒ ハーベ アイン ブーブ ダス イスト アイン ドイチェス ブーブ

おそらくはじめてドイツ語を学ぶ人でも、英語からの類推でおおよその見当がつくことと思います。ちなみに、この文章を英語に直すようになります。

I have a book. This is a German book.

「私は1冊の本を持っています。これはドイツ（語）の本です」が日本語訳です。では、ここでこのドイツ語と英語の文章を並べて比較してみましょう。Ich はI（私）と同じ意味です。

Ich habe ein Buch.

↑ ↑ ↑ ↑

I have a book.

Das ist ein deutsches Buch.

↑ ↑ ↑ ↑ ↑

This is a German book.

habe が have で、ist が is だなんて、ドイツ語と英語は
びっくりするほど似ていますね。

もう1つ、例を挙げてみましょう。

Sie sind (ein) japanischer Student.

ズイー ズイント アイン ヤパーニッシャ シュトゥデント

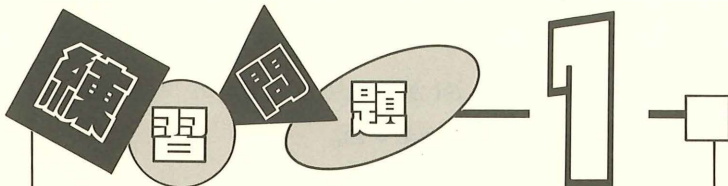
↑ ↑ ↑ ↑ ↑

You are a Japanese student.

あなたは日本の学生です。

もちろん、英語と違う点もいろいろとあります。67ペー
ジの表を見ていただければわかるように、大文字のSで始ま
る **Sie** には「あなた・あなたたち」という意味があり、sが
小文字になった **sie** には「彼女」という意味があります。ま
た sie には、「彼ら・彼女ら・それら」という意味もありま
す。英語の you にしても、he, she にしても大文字か小文
字かで意味が違うことはありませんね。この Sie と sie の
意味の違いはドイツ語独特のものと言えるでしょう。

彼女	sie
彼ら・彼女ら・それら	sie
あなた・あなたたち	Sie



つぎの文を訳してみましょう

1. Ich habe ein deutsches Buch.
2. Ich habe heute keine Zeit.
3. Das ist ein japanisches Buch.
4. Das ist ein Apfel.
5. Sie kommen nach Hause.
6. Sie sind japanischer Arzt.

解 答

1. 私は1冊のドイツ（語）の本を持っている。
2. 私はきょうはひまがない。
3. これは1冊の日本（語）の本である。
4. これは1個のリンゴだ。
5. あなたは家へ帰る。
6. あなたは日本人の医師だ。



2 人称代名詞の変化

英語の I にあたる単語は ich であり、she にあたる単語は sie であることは前に述べました。ich は文法的に説明すると 1 人称単数、sie は 3 人称単数です。この項目では ich や sie をはじめとする人称代名詞の変化を学んでいきます。つぎの表をみてください (sein は英語の be 動詞、haben は have にあたります。2 つともとても大切な動詞ですので、人称変化といっしょにおぼえてしまいましょう)。

単 数		sein ザイン	haben ハーベン
1 人称	ich イッヒ	bin ビン	habe ハーベ
2 人称(親称)	du ドゥー	bist ビスト	hast ハスト
3 人称	er・sie・es エア ズイー エス	ist イスト	hat ハット
複 数		sein ザイン	haben ハーベン
1 人称	wir ヴィーア	sind ズイント	haben ハーベン
2 人称(親称)	ihr イーア	seid ザイト	habt ハープト
3 人称	sie ズイー	sind ズイント	haben ハーベン
2 人称(敬称)	Sie ズイー	sind ズイント	haben ハーベン

er, sie, es がそれぞれ英語の he, she, it にあたります。

have や be といった活用前の形を英語では動詞の原形と呼びましたが、ドイツ語では**不定詞**と呼びます（不定詞については36ページで説明しましたね）。

Ich habe wenig Geld, aber viel Zeit.

イッヒ ハーベ ヴェーニヒ ゲルト アーバァ フィール ツァイト

私はお金は少ししかありませんが、時間はたくさんあります。

Ich habe wenig Geld, aber viel Zeit.

↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑

I have little money, but much time.

wenig は little と同じく、否定的な意味ですが、**ein wenig** の形になると肯定的な a little の意味になります。

Geld (お金) は通常は冠詞をつけて das (英・the) Geld と表現します。しかし冠詞の **wenig** や **kein** (英・no, not) がつくと、das という定冠詞が消えます。I have no money. (私は金がない) はドイツ語では, Ich habe kein Geld. です。

Zeit (時間) も viel (たくさんの) という形容詞が前についているため、冠詞なしで使われています。

なお、ドイツ語では修飾する名詞に従って形容詞の語尾も変化します。このことについては83ページで詳しく説明

します。

meine vielen Freunde

マイネ フィーレン フロインデ

私の・たくさんの・友人たち

Zeit はまた, haben とともに使われるときには, 定冠詞がつきません。しかし, 否定の場合は否定冠詞の **kein** がついて **keine Zeit** となります。

Wann haben Sie Zeit?

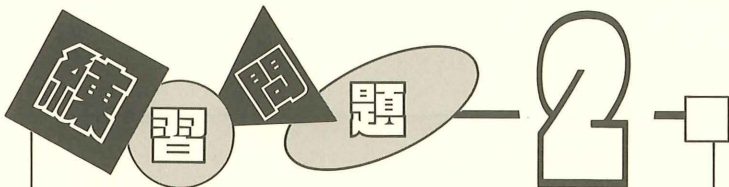
ヴァン ハーベン ズィー ツァイト

いつあなたはおひまですか。

Ich habe keine Zeit.

イッヒ ハーベ カイネ ツァイト

私はひまがありません。



つぎの文を訳してみましょう。

1. Heute habe ich Geburtstag.
2. Haben Sie eine Speisekarte auf Englisch ?
3. Er hat Hunger.
4. Du bist krank.
5. Sind Sie Japaner ?
Nein, ich bin Chinese.

— 解 答 —

1. きょうは私の誕生日だ。
2. 英語のメニューはありますか。
3. 彼は空腹である。
4. 君は病気だ。
5. あなたは日本人ですか。
いいえ、私は中国人です。



3 名詞にはすべて性がある

名詞の単数・複数の区別は、英語にもフランス語にもドイツ語にも同じようにあります。

男性・女性の区別は英語ではごく一部の名詞に、フランス語では全部の名詞にあります。ところが、ドイツ語の名詞には、男性・女性のほかに中性もあります。その点、ロシア語と同じです。

英語の the にあたるドイツ語の定冠詞は、それぞれ男性・女性・中性で形を変えます。さらにそれらが各々、複数形を持ちますので、合計形は6つになります。

男 性 名 詞 〈父〉

単 数

der Vater

デア ファーター

複 数

die Väter

ディー フェーター

女 性 名 詞 〈母〉

単 数

die Mutter

ディー ムッター

複 数

die Mütter

ディー ミュッター

中 性 名 詞 〈子供〉

単 数

das Kind

ダス キント

複 数

die Kinder

ディー キンダー

合計6つの形があると言いましたが、複数形は定冠詞

die が共通して使われているため、6 つバラバラの形というわけではありません。

さて、ここでつぎの文をみてください。

Luise ist die Schwester der Mutter.

ルイーゼ イスト ディー シュヴェスター デア ムッター

➡ Luise is the sister of the mother.

訳 ルイーゼはあの（その）母親の姉妹です。

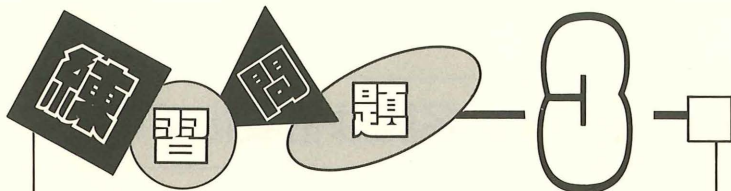
これまで学んできたことから、die は **Schwester**（姉妹）につく冠詞、der は **Mutter**（母）につく冠詞であることがすぐにわかると思います。

ところで、このドイツ語の文と英語の文をくらべてみて、何か気がついたことはないでしょうか。

ドイツ語の文章には「母の（=of the mother）妹」の「の」（=of）にあたる語が見当たりません。このようにドイツ語は文中での役割によって冠詞と名詞が形を変え、助詞（～が、～の、～に、～を）の働きを代用するのです。これを名詞の格変化と言います。

格変化については、つぎの項目で詳しく説明しますので、ここでは以下の対応だけをおぼえておきましょう。

1 格	die Mutter	その母が～
2 格	der Mutter	その母の～
3 格	der Mutter	その母に～
4 格	die Mutter	その母を～



つぎの文を訳してみましょう。

1. Der Garten ist groß und schön.
2. Jene Frau ist meine Mutter.
3. Heute ist das Wetter sehr gut.
4. Ich finde die Bücher nicht auf dem Tisch.
5. Hinter unserem Haus stehen alte Bäume.

解 答

1. その庭は大きくて美しい。
2. あの婦人は私の母です。
3. きょうは天気が大変よい。
4. その本（複数形）がその机の上に見つからない。
5. 私たちの家のうしろに、古い木（複数形）が立っている。



4 名詞は格変化する

英語の名詞やフランス語の名詞と違い、ドイツ語の名詞は定冠詞と結びつくことによって、「～は (が)、～の、～に、～を」という助詞がついた名詞とほぼ同じ意味を持つようになります。

つまり、簡単に言えばドイツ語では日本語の助詞「～が、～の、～に、～を」の働きを、冠詞+名詞の変化で代用するということです。その変化を実際のドイツ語にあてはめてみていきましょう。

das Buch **der Mutter** 母の本

das Buch **der Mutter** 母に本を (与える)

(ich) sehe **die Mutter** (私は)母を見る

上の文には「母の」、「母に」、「母を」という Mutter (母) の3つの格があります。「母は (が)」という格は、1格にあたります。それを下の表でみてください。

単 数			
	男性(父)	女性(母)	中性(子供)
1格	der Vater ファータァ	die Mutter ムックァ	das Kind キンツ
2格	des Vaters ファータァス	der Mutter	des Kindes キンデス
3格	dem Vater	der Mutter	dem Kind

4 格（～を）になっているのです。

こんどは、つぎの文を読んでみてください。

Ich rufe den Vater an.

イッヒ ルーフェ デン ファーター アン

私は（その）父に電話をかける。

日本語の感覚からすると、「父に電話をかける」は

der（が）・des（の）・dem（に）・den（を）

という格変化に沿って、つぎのように言いたくなります。

Ich rufe **dem Vater** an.

上の文章は格変化に準じれば一見正しいようにみえるかもしれませんが。

しかし、どの格が来るかは動詞によってきまっており、きまった格以外は使えないきまりがあるので。

anrufen（電話をかける）という動詞のあとには4格が来ること（これを文法的にはanrufenが4格をとる・支配すると言います）を、下記のようにjemand（イエーメント、誰だれは）を使っておぼえる習慣を身につけましょう。

jemanden anrufen（誰だれを・電話する）

イエーマンデン アンルーフェン

→anrufenは「人の4格」をとる、とおぼえましょう。

アンルーフェン

同じように、「父に（手紙を）書く」は，jemandem（イエーマンデム）schreiben となります。

jemand の3格の jemandem を **jm**，4格の jemanden

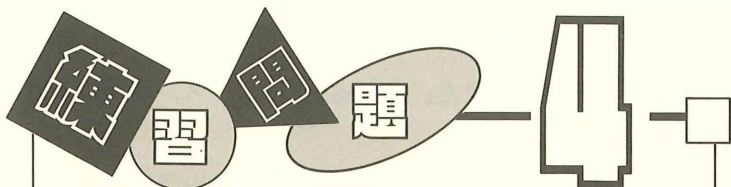
を **jn** と略します。また, etwas (エトヴァス, 何か) は **et** と略します。

つぎの動詞は特に格の支配を間違えやすいので, 気をつけましょう。

ドイツ語	日本語
jn anrufen	～に電話をする
jm helfen	～を助ける
jn et fragen	～に…をたずねる
jn treffen	～と会う
jm et stehlen	～から…を盗む

物の 4 格の目的語をとる動詞（他動詞）は, つぎのよう
におぼえましょう。

et (エトヴァス, 何々を) **essen** (エッセン, 食べる) →
これをエトヴァス エッセンとおぼえます。

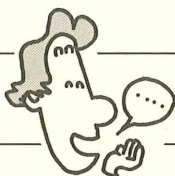


つぎの文を訳してみましょう。

1. Heute schenkt er dem Freund ein Buch.
2. Ich gebe dem Kind Schuhe und Kleider.
3. Die Fenster dieses Zimmers sind offen.
4. Diese Bauern sind die Nachbarn meines Onkels.
5. Aus dem Auto steigen zwei Damen. Sie fragen einen Jungen nach dem Weg zum Bahnhof.

— 解 答 —

1. きょう、彼は友達に1冊の本を送る。
2. 私はその子供に靴と衣服を与える。
3. この部屋の窓は開いている。
4. これらの農夫たちは、私のおじの隣人だ。
5. 自動車から2人の女性が降りてくる。彼女たちは1人の少年に、駅へ行く道を尋ねる。



5 動詞の人称変化

この項目では動詞の変化を学びます。英語にくらべるとドイツ語の動詞の変化は複雑にみえるかもしれませんが、特殊なものを除き (haben や sein など), 当然変化には規則があります。まずは最も代表的な変化をおぼえましょう。

不定詞 lernen (学ぶ) の変化表

単		数
1 人称	ich lerne レルネ	私は学ぶ
親 称 2 人称	du lernst レルンスト	君は学ぶ
3 人称	er } sie } lernt es } レルント	彼 } 彼女 } は学ぶ それ }
複		数
1 人称	wir lernen レルネン	私たちは学ぶ
親 称 2 人称	ihr lernt レルント	君たちは学ぶ
3 人称	sie lernen レルネン	彼たち } 彼女たち } は学ぶ それたち }
敬 称 2 人称	Sie lernen レルネン	あなた } あなた方 } は学ぶ

敬称を除いて, 「e, st, t, en, t, en」の語尾です。

表からわかるように、「彼（女）たちは学ぶ」と「あなたは学ぶ」は、同じ「ズィー・レルネン」の発音です。

語尾が「e, st, t, en, t, en」と規則変化をする動詞のほかに, du と er の場合においてだけ, つぎの2つの型の不規則変化をする動詞があります。

1) ウムラウト型動詞

	親称・2人称(単数)	3人称(単数)
schlafen	du schläfst	er schläft

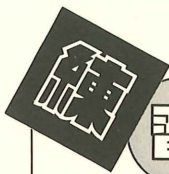
この型には **schlafen** (シュラーフェン, 眠る) のほかに **fahren** (ファアーレン, 乗物で行く), **fallen** (ファレン, 落ちる), **backen** (バックェン, パンを焼く) などがあります。

2) e → i 型と e → ie 型

	親称・2人称(単数)	3人称(単数)
sprechen	du sprichst	er spricht
sehen	du siehst	er sieht

e → i 型には **sprechen** (シュプレッヒェン, 話す) のほかに, **geben** (ゲーベン, 与える), **essen** (エッセン, 食べる) などがあり, e → ie 型には **sehen** (ゼーエン, 見る) のほかに **lesen** (レーゼン, 読む) があります。

このほかにも, 不規則変化をする動詞がありますが, それは独和辞典の巻末についている「動詞変化表」を参照して少しずつおぼえていってください。

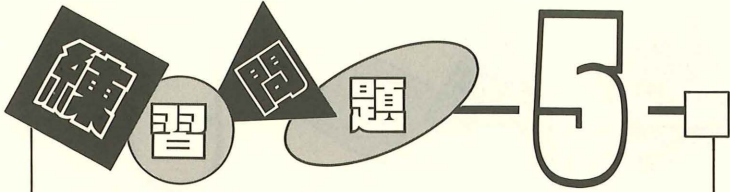


Ⓐ つぎの動詞を人称変化させてみましょう。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. wohnen (住む) | 2. gehen (行く) |
| 3. machen (つくる) | 4. fassen (つかむ) |
| 5. laufen (走る) | |

解 答

- | |
|-----------------------------------|
| 1. ich wohne, du wohnst, er wohnt |
| wir wohnen, ihr wohnt, sie wohnen |
| 2. ich gehe, du gehst, er geht |
| wir gehen, ihr geht, sie gehen |
| 3. ich mache, du machst, er macht |
| wir machen, ihr macht, sie machen |
| 4. ich fasse, du faßt, er faßt |
| wir fassen, ihr faßt, sie fassen |
| 5. ich laufe, du läufst, er läuft |
| wir laufen, ihr lauft, sie laufen |



㊦ つぎの文を訳してみましょう。それぞれの動詞の不定詞を解答に載せますので、参照してください。

1. Ein Kind weint und schreit.
2. Er lehrt, aber lernt nicht.
3. Der Vogel fliegt schnell.
4. Das Kind schwimmt gut.
5. Der Vater gibt Karl ein Buch. Er liest gern Bücher.

解 答

1. 1 人の子供が泣き叫んでいる (← **weinen, schreien**)。
2. 彼は (人にものを) 教えるが (自分自身は) 学ばない。 (← **lehren, lernen**)。
3. その鳥は速く飛ぶ (← **fliegen**)。
4. その子供は上手に泳ぐ (← **schwimmen**)。
5. その父親はカールに 1 冊の本を与える。彼は本を好んで読む (← **geben, lesen**)。



6 形容詞にも性・数・格がある

これまでみてきたように、ドイツ語の名詞には性・数・格がありました。それと同様に、ドイツ語では形容詞と所有代名詞(英語で言えば my, your, his などです。これはまた不定冠詞類とも呼ばれます)にも性・数・格があるのです。

この2つは、修飾する名詞の性、および数によって語尾が変化し、さらに名詞とともに「が・の・に・を」の格変化を起こします。

Das lange Haar des Sohnes gefällt dem alten Vater
ダス ランゲ ハール デス ソーネス ゲフェルト デム アルテン ファータァ
nicht.
ニヒト

(その) おすこの (その) 長い髪は、(その) 年老いた父親の気に入りません。

Das lange Haar des Sohnes は、英語で言えば The long hair of the son にあたります。Haar (髪) に das という中性の1格の定冠詞がついているので、この単語が中性名詞であることがわかります。

格変化については86～87ページの表を参照してください。これは「形容詞＋名詞」の格変化をまとめたものです。

形容詞の弱変化の場合、

- ① 男性・単数の1格
- ② 女性・単数の1格と4格
- ③ 中性・単数の1格と4格

この3つの形容詞だけが-eの語尾をとります。

形容詞がこのように単調な語尾変化を示すのは、そのまえにつく定冠詞がすでに活発な変化をされていて、性・数・格をはっきりさせているからです。つまり、あえてもう1度形容詞で性・数・格をはっきりさせる必要がないというわけです。こうした不活発な変化を**形容詞の弱変化**（弱い変化）と呼びます。

Kleine Kinder trinken gern süße Milch.

クライネ キンダァ トリンケン ゲルン ジューセ ミルヒ

小さい子供（というもの）は甘い牛乳を喜んで飲む。

上の文のように「その子供」でなく、「子供一般」を指すときは、定冠詞がつきません。その場合、形容詞が定冠詞の代わりに性・数・格をはっきりさせる必要が生じますので、活発な変化を示します。これを**形容詞の強変化**（強い変化）と呼びます。

Kleine Kinder は、中性・単数・1格の **kleines Kind** が、複数になったものです。弱変化ならば、**Die kleinen Kinder** となります。

mein（マイン・私の）や**dein**（ダイン・君の）といった所有代名詞は、つぎの不定冠詞 **ein**（ひとつの、英・a, an）

と、同じ変化をします。

男性名詞	女性名詞	中性名詞
ein Mann	eine Frau	ein Kind
eines Mann(e)s	einer Frau	eines Kind(e)s
einem Mann	einer Frau	einem Kind
einen Mann	eine Frau	ein Kind

ein 型の格変化をする所有代名詞を挙げます。

mein 私の マイン	unser 私たちの ウンザァ
dein 君の ダイン	euer 君たちの オイア
sein 彼の ザイン	ihr 彼ら・彼女ら・それらの イーア
ihr 彼女の イーア	Ihr あなた(がた)の イーア
sein それの ザイン	

形容詞にはまた英語と同じように、比較級(erをつける)と最上級([e]stをつける)があります。

alt (老いた) -**älter**-**ältest**, schön (美しい) -**schöner** -**schönst**. 「私の兄」は mein älterer Bruder. 「彼の妹」は seine jüngere Schwester. 「クラウスは私より年上です」は Klaus ist älter als ich.

形容詞＋名詞の変化

形容詞の弱変化（定冠詞＋形容詞＋名詞）

	男 性	女 性
1 格	der gut- e Mann	die gut- e Frau
2 格	des gut- en Mannes	der gut- en Frau
3 格	dem gut- en Mann	der gut- en Frau
4 格	den gut- en Mann	die gut- e Frau

形容詞の強変化（形容詞＋名詞）

	男 性	女 性
1 格	gut- er Mann	gut- e Frau
2 格	gut- en Mannes	gut- er Frau
3 格	gut- em Mann	gut- er Frau
4 格	gut- en Mann	gut- e Frau

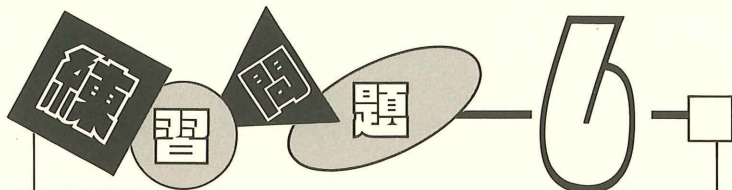
形容詞の混合変化（不定冠詞＋形容詞＋名詞）

	男 性	女 性
1 格	ein gut- er Mann	ein- e gut- e Frau
2 格	ein- es gut- en Mannes	ein- er gut- en Frau
3 格	ein- em gut- en Mann	ein- er gut- en Frau
4 格	ein- en gut- en Mann	ein- e gut- e Frau

中 性	複数(共通)
das gut- e Kind	die gut- en Männer
des gut- en Kindes	der gut- en Männer
dem gut- en Kind	den gut- en Männern
das gut- e Kind	die gut- en Männer

中 性	複数(共通)
gut- es Kind	gut- e Männer
gut- en Kindes	gut- er Männer
gut- em Kind	gut- en Männern
gut- es Kind	gut- e Männer

中 性	複数(共通)
ein gut- es Kind	mein- e gut- en Kinder
ein- es gut- en Kindes	mein- er gut- en Kinder
ein- em gut- en Kind	mein- en gut- en Kindern
ein gut- es Kind	mein- e gut- en Kinder



つぎに挙げる「私は・私の・私に・私を」という人称代名詞の格変化をおぼえて、練習問題をやってみましょう。

	1 人称	2 人称	3 人称
単 数	ich	du Sie	er sie es
	meiner	deiner Ihr	seiner ihrer seiner
	mir	dir Ihnen	ihm ihr ihm
	mich	dich Sie	ihn sie es
複 数	wir	ihr Sie	sie
	unser	euer Ihr	ihrer
	uns	euch Ihnen	ihnen
	uns	euch Sie	sie

1. Wie geht es Ihnen ?
2. Ich gebe ihr ein Armband.
3. Diese Arbeit ist deiner nicht würdig.
4. Ich liebe dich. Du liebst mich auch.

解 答

1. ごきげんいかがですか (**Ihnen** は **Sie** の 3 格 [あなたに] です)。
2. 私は彼女に腕輪を与える。
3. この仕事は君にふさわしくない (**deiner** は 2 格です)。
4. 私は君を愛している。君も私を愛している。



7 前置詞の格支配

on the table (テーブルの上に) をドイツ語で言う場合、**auf dem** Tisch と **auf den** Tisch の 2 通りがあります。Tisch (テーブル) に 3 格および 4 格をとる前置詞 auf がついたため、格変化 der・des・dem・den のうちの 3 格の dem と 4 格の den がつくのです。以下、代表的な前置詞をみていきます。

a) 2 格支配の前置詞 (たとえば **statt**)

Statt des Geldes schickt er nur einen Brief.

シュタット デス ゲルデス シックト エア ヌーア アイネン プリーフ

お金のかわりに、彼は 1 通の手紙だけを送る。

中性名詞 **Geld** (お金) の格変化は、das Geld-des Geldes -dem Geld-das Geld です。

b) 3 格支配の前置詞 (たとえば **bei**)

Er wohnt bei meiner Tante.

エア ウォント バイ マイナァ タンテ

彼は私のおばのところに住んでいる。

85 ページで述べたように **mein** (私の) は、不定冠詞の **ein** (ひとつの) と同じ語尾の格変化をします。meine (eine) Tante-meiner (einer) Tante-meiner (einer) Tante-meine (eine) Tante。

c) 4 格支配の前置詞 (たとえば **gegen**)

Er schwimmt gegen den Strom.

エア シュヴァムト ゲーゲン デン シュトローム

彼は流れにさからって泳ぐ。

男性名詞 **Strom** (流れ) の格変化は, der Strom - des Strom(e)s - dem Strom - den Strom です。

d) 3・4 格支配の前置詞 (たとえば **auf**)

Das Buch ist (liegt) auf dem Tisch.

ダス ブーフ イスト リーグト アオフ デム ティッシュ

(3 格支配)

本がテーブルの上にある。

Ich lege das Buch auf den Tisch.

イッヒ レーゲ ダス ブーフ アオフ デン ティッシュ

(4 格支配)

私は本をテーブルの上に置く。

ist という動詞が「静止」(=位置)を表しているために, **auf** が 3 格の名詞を支配して **dem Tisch** が来ます。lege は「運動」(=方向)を表すために, **auf** が 4 格の名詞を支配して **den Tisch** が来ます。Tisch は男性名詞ですので, der・des・dem・den (単数) と格変化します。

もう 1 つ, auf を使った例を見ましょう。3 格支配か 4 格支配かでまったく意味が違ってきますね。

auf der Straße 通りに (いる, 3 格・位置)

アオフ デア シュトラーセ

auf die Straße 通りへ (走る, 4 格・方向)

アオフ ディー シュトラーセ

それではつぎに, 今挙げたものの以外の前置詞を紹介します。

㉔ **statt** 以外の 2 格支配の前置詞

trotz ～にもかかわらず **während** ～のあいだに
wegen ～のゆえに **um～willen** ～のために

ex Trotz des Regens～ 雨にもかかわらず
トロッツ デス レーゲンス

㉕ **bei** 以外の 3 格支配の前置詞

aus ～から **mit** ～とともに
seit ～以来 **von** ～の・から・について
zu ～へ・に・のために **nach** ～へ・のあとに・によ
ると

ex Nach dem Essen～ 食事のあとに
ナーハ デム エッセン

㉖ **gegen** 以外の 4 格支配の前置詞

bis ～まで **für** ～のために
durch ～を通じて **um** ～のまわりに
ohne ～なしに

ex um den Tisch～ テーブルのまわりに
ウム デン ティッシェ

㉗ **auf** 以外の 3・4 格支配の前置詞

an のそば **in** のなか
unter の下 **hinter** のうしろ

vor の前

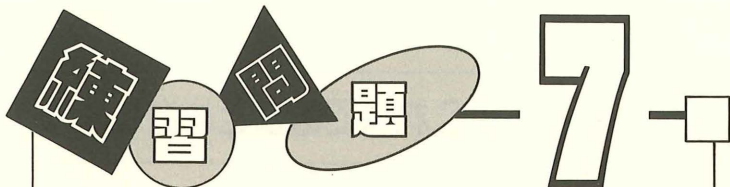
neben の横

über の上方

zwischen のあいだ

前置詞はまた，定冠詞・代名詞と融合して綴りを変えます。以下，おもな例をみていきましょう。

an dem → am	an das → ans	auf das → aufs
in dem → im	in das → ins	bei dem → beim
von dem → vom	zu dem → zum	



つぎの文を訳してみましょう。

1. Sie kommt mit dem Lehrer.
2. Er geht durch die Tür.
3. Er bringt den Koffer zum Bahnhof.
4. Er dankt dem Freund für das Geschenk.
5. Ich warte auf meinen Freund.

解 答

1. 彼女は先生といっしょに来る (**mit** は 3 格支配)。
2. 彼はドアを通して行く (**durch** は 4 格支配)。
3. 彼はトランクを駅へ運ぶ (**zum** は **zu dem** のこと。 **zu** は 3 格支配)。
4. 彼は友達に贈物のことで感謝する (**für** は 4 格支配)。
5. 私は友達を待っている (**auf** はこの場合は 4 格支配)。



8 これまでのまとめをしよう

これまでの学習でだいぶドイツ語にも慣れたことと思います。ここで短い文章を読んでみましょう。月と季節に関する文章です。

Das Jahr

ダス ヤール

Das Jahr hat zwölf Monate. Sie heißen :

ダス ヤール ハット ツヴェルフ モーナテ ズィー ハイセン

Januar, Februar, März, April, Mai, Juni, Juli,

ヤヌアール フェーブルアール メルツ アプリル マイ ユーニ ユーリ

August, September, Oktober, November und

アオグスト セプテムバア オクトーバア ノヴェムバア ウント

Dezember.

デツェムバア

Der Monat hat 30 (dreißig) oder 31

デア モーナト ハット ドライスイヒ オーダ

(einunddreißig) Tage. Nur der Februar hat 28

アインウントドライスイヒ ターゲ ヌーア デア フェーブルアール ハット

(achtundzwanzig) oder 29 (neunundzwanzig)

アハトウントツヴァンツイヒ オーダ ノインウントツヴァンツイヒ

Tage.

ターゲ

Es gibt vier Jahreszeiten. Sie heißen : der

エス キープト フィーア ヤーレスツァイテン ズィー ハイセン デア

Frühling, der Sommer, der Herbst und der

フリューリング デア ソムマ デア ヘアプスト ウント デア

Winter.

ウィンタ

[解 説]

Das Jahr (1年) と **Der Monat** (月) と **der Februar** (2月) の **das**, **der**, **der** は、英語の **the** にあたる定冠詞です。詳しくは「4. 名詞は格変化する」で説明したとおりですが、**der** が単数男性名詞を、**die** が単数女性名詞を、**das** が単数中性名詞を表します。

したがってこのことから、**Frühling** (春) と **Sommer** (夏) と **Herbst** (秋) と **Winter** (冬) が、全部男性名詞であることがわかります。

Monate は **Monat** (月) の複数形です。

Sie は大文字で始まっていますが、67ページの「人称代名詞の変化」の表を見ていただければ見当がつくように、**zwölf Monate** (12の月) を受けている3人称複数の **sie** です。

heißen は動詞の3人称複数であり、**sie lernen** と同じく **-en** の語尾がつき、意味は「～と言う、称する」です。

Januar～**Dezember** は、英語の **January**～**December** にあたり、「1月…12月」です。

und は **and** (そして)、**oder** は **or** (または)、**nur** は **only** (だけが) です。

Tage は **Tag** (day, 日) の複数形です。

Es gibt の **gibt** は **geben** (与える) の3人称単数で、ここでは非人称動詞として使われています。これは英語の **there is (are)** にあたり、「～がある」の意味です。なおこの **Jahreszeiten** (季節) は **gibt** の目的語になっており、格は4格です。

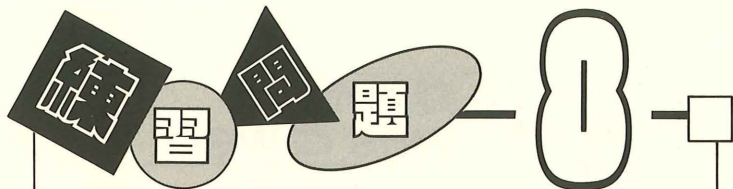
vier は「4つの (four)」です。

Jahreszeiten は Jahreszeit (女性・単数, 季節) の複数形で, **Zeit** は「時」を表す言葉です。

1 年

1 年には12カ月あります。それらは1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月と言います。ひと月は30日または31日あります。2月だけが28日または29日です。

4つの季節があります。それらは, 春, 夏, 秋, 冬と言います。

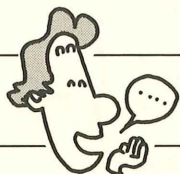


つぎの会話の文章を読んでみましょう。

1. Sind Sie Deutscher ?
Nein, ich bin Engländer.
2. Ich habe Fieber.
3. Haben Sie einen kostenlosen Stadtplan ?
4. Das ist zu teuer.
5. Wie heißt der nächste Bahnhof ?
6. Gibt es ein Warenhaus ?

解 答

1. あなたはドイツ人ですか。
いいえ、私は英国人です。
2. 私は熱があります。
3. あなたは無料の市街地図をお持ちですか。
4. それは（値が）高すぎます。
5. つぎの（←いちばん近い）駅は何といいますか。
6. デパートはありますか。



9 疑問代名詞 was と wer

疑問文では「誰が?」という言い方と、「何が?」という言い方がいちばん多く使われます。

英語の Who～?, What～? がドイツ語では Wer～? と Was～? になります。こうした「誰が?」「何が?」といった形の構文は英語でもドイツ語でも疑問代名詞と呼ばれます。

Was ist das?

ヴァス イスト ダス

➡ What is that?

訳 あれは何ですか。

Wer ist dort?

ヴェーア イスト ドルト

➡ Who is there?

訳 そこに誰がいますか。

上の das は、that (あの) の意味と the (その) の意味の両方に用いられる指示代名詞です。

なお、das Buch と言うときの das が指示代名詞ではなくて定冠詞であることは、言うまでもありません。

Was macht der Junge?

ヴァス マハト デア ユンゲ

➡ What is the boy doing?

訳 その少年は何をしているのですか。

Wer geht so schnell?

ヴェーア ゲート ソー シュネル

➡ Who is going so quickly?

訳 そんなに急いで行くのは誰ですか。

macht の不定詞は **machen** (マッヘン) で、英語の do, make にあたります。

以上, was という疑問代名詞が1格と4格の形で用いられることをみてきました。これを表にまとめると下のようになります。

何が (1 格)	was ? ヴァス
何の (2 格)	—
何に (3 格)	—
何を (4 格)	was ? ヴァス

つぎに, wer という疑問代名詞がつぎの4つの格の形で用いられることを, それぞれ例文を挙げてみることにします。

誰が (1 格)	wer ? ヴェーア
----------	---------------

誰の (2 格)	wessen ? ヴェッセン
誰に (3 格)	wem ? ヴェーム
誰を (4 格)	wen ? ヴェーン

1 格から 4 格までの例文をみていきましょう。

1 格

Wer ist er ?

ヴェーア イスト エア

彼は誰ですか。

2 格

Ich weiß nicht, **wessen** Haus das ist.

イッヒ ヴァイス ニヒト ヴェッセン ハオス ダス イスト

あれが誰の家かを、私は知らない。

weiß の不定詞は、**wissen** (ヴィッセン・知っている) です。

3 格

Wem geben Sie das Buch ?

ヴェーム ゲーベン ズイー ダス ブーフ

その本をあなたは誰に与えるのですか。

Sie (あなた) も **sie** (彼 [女] たち) も、また **wir** (私たち) も、不定詞と同じ形の **geben** を用います (79ページの「不定詞 lernen」の語尾を参照)。

4 格

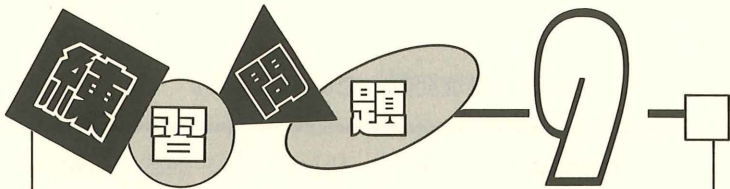
Wen möchten Sie besuchen ?

ヴェーン メヒテン ズイー ベズーヘン

あなたは誰を訪問したいのですか。

上の **möchten** については、107ページの「話法の助動詞」の項目で説明します。



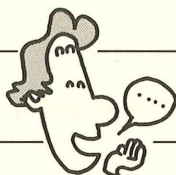


つぎの文を訳してみましょう。

1. Mit wem gehen Sie ?
2. Was hast du in der Hand ?
3. Wem schenkst du diese Puppe ?
4. Wessen Kleid nähen Sie ?
5. Was für einen Wagen haben Sie ?
6. Was für einen Hut haben Sie gekauft ?

解 答

1. あなたは誰と行くのか。
 2. 君は手（のなか）に何を持っているのか。
 3. 君は誰にこの人形を贈るのか。
 4. あなたは誰のドレスを縫っているのですか。
 5. あなたはどんな車をお持ちですか。
 6. あなたはどんな帽子を買いましたか。
- （6 の文章については「現在完了」の章を参照してください）。



10 関係代名詞 der と was

英語の the はドイツ語では der・die・das・die にあたります。つまりドイツ語では冠詞にも性と数があり、さらに4つの格があります。

名詞が何格であるかが、定冠詞や不定冠詞 (ein など) によって明確にされるわけです。

この **der** や **die** はまた、下のように 1) 指示代名詞と 2) 関係代名詞にもなります。

1) Ich habe einen Vogel. **Der** singt schön.

イッヒ ハーベ アイネン フォーゲル デーア ズィングト シェーン

➡ I have a bird. That sings beautifully.

訳 私は1羽の鳥を飼っている。それは美しく歌う。

2) Ich habe einen Vogel, **der** schön singt.

イッヒ ハーベ アイネン フォーゲル デーア シェーン ズィングト

➡ I have a bird **which** sings beautifully.

訳 私は美しく歌う1羽の鳥を飼っている。

1 関係代名詞 der

der・die・das・die は、関係代名詞の場合にも格変化し、定冠詞と違う発音をするものもあります。詳しくは105ページの表を参照してください。

1) の Der は前の文章の鳥を指すことから指示代名詞

と呼ばれます。

1) の文の指示代名詞の場合と、2) の文の関係代名詞の場合とでは、動詞の *singt* の位置が違います。

関係代名詞に導かれる文では、動詞が文末に来ます。

関係代名詞には、2) の文の～*Vogel, der* の *Vogel*, つまり先行詞がないものもあります。たとえば、

Wer lange lebt, erfährt viel.

ヴェーア ランゲ レープト エアフエーアト フィール

⇒ Who lives long experiences much.

訳 長生きする人は、多くのことを見聞きする。

このように先行詞を持たない関係代名詞を、不定関係代名詞と呼びます。～*Vogel, der* の *der* は、これにたいして定関係代名詞と呼ばれます。

2 関係代名詞 **was**

Was ist das? (あれは何ですか) の **Was** は、疑問代名詞です。しかし、*was* はまた *der* と同じく、つぎのように関係代名詞にもなります。

1) **Was er hat, gibt er gern.**

ヴァス エア ハット ギープト エア ゲルン

⇒ What he has, he gives willingly.

訳 彼は自分が持っているものを、喜んで与える。

2) Das Beste, **was** wir haben können, ist die

ダス ベステ ヲアス ヴィーア ハーベン ケンネン イスト ディー

Freiheit.

フライハイト

➡ The best thing that we can be given is freedom.

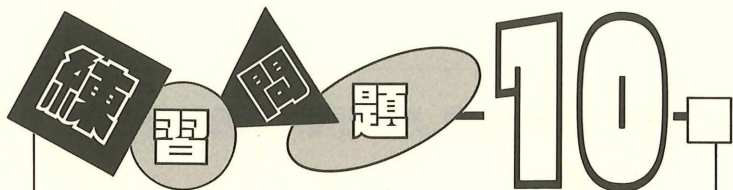
㊦ われわれが持ちうる最高のものは、自由である。

上の 1) の文には先行詞がなく、2) の文の先行詞は Das Beste です。

関 係 代 名 詞

男 性	女 性	中 性	複 数
der デア	die ディー	das ダス	die ディー
dessen デッセン	deren デーレン	dessen デッセン	deren デーレン
dem デーム	der デア	dem デーム	denen デーネン
den デーン	die ディー	das ダス	die ディー

関係代名詞は [] で囲んだものの以外は定冠詞と同じ変化ですが、**das** と **dessen** 以外は長くのばして発音し、定冠詞と区別します。



つぎの文を訳してみましょう。なお、5のカッコの中の関係代名詞は、省略されることがあります。

1. Der Junge, der hier steht, ist mein Bruder.
2. Der Junge, dessen Vater tot ist, ist unglücklich.
3. Ich habe einen Freund, dem ich vertrauen kann.
4. Wessen Hand kalt ist, dessen Herz ist warm.
5. Wer den ganzen Tag arbeitet, (der) ist abends sehr müde.

解 答

1. ここに立っている少年は、私の兄弟だ。
2. 父親が死んだ少年は、不幸である。
3. 私には信頼できる友人がいる。
4. 手が冷たい人の心はあたたかい。
5. 一日中働く人は、晩はとても疲れている。



11 語法の助動詞

英語の助動詞 can, may, must などにあたるドイツ語は、**können** (できる), **dürfen** (してよい), **müssen** (ねばならない), **sollen** (すべきである), **mögen** (好む, かもしれない), **wollen** (欲する) です。

動詞と結びついて、可能性や必然性や意図などを述べるこれらの助動詞を語法の助動詞（語法とは会話のことです。話のなかで、話者の気持ちや主観的なニュアンスを伝える役割をするのでこう呼ばれるのです）と呼びます。

それでは、語法の助動詞 6 つをそれぞれ英語と対応させながら見ていきましょう。

können ケンネン	can	Ich (er) kann カン
dürfen デュルフェン	may	Ich (er) darf ダルフ
müssen ミュッセン	must	Ich (er) muß ムス
sollen ゾレン	should	Ich (er) soll ゾル
mögen メーゲン	may	Ich (er) mag マーグ
wollen ヴォレン	will	Ich (er) will ヴィル

これらの助動詞がどのように会話で用いられるのか、つぎにいくつか例文を挙げてみます。

Können Sie Deutsch ? (sprechen は略されます)

ケンネン ズイー ドイチュ

➡ Can you speak German ?

訳 あなたはドイツ語が話せますか (können)。

Wen soll ich fragen ?

ヴェーン ソル イッヒ フラーゲン

➡ Who should I ask ?

訳 誰に聞けばよいですか (sollen の活用例)。

Muß ich das Frühstück jetzt bestellen ?

ムス イッヒ ダス フリューステュック イェッツト ペシュテレン

➡ Must I order a breakfast now ?

訳 いま朝食を予約しなければなりませんか (müssen の活用例)。

最初に挙げた 6 つの話法の助動詞のうちで、mögen は会話ではその接続法が使われます。

まず mögen (不定詞) の現在 1 人称である **Ich mag**～があり、その過去形の **Ich mochte**～があり、それをさらに接続法第 II 式にすると、**Ich möchte**～という形になるわけです。

接続法は、直説法 (これまで学んできたような、事実を事実として伝えるのに用いられる動詞の定形です) が客観的事実を表すのにたいして、そうあってほしい、可能性が

ある、不確かなことを述べるのに用いられます。英語でいう仮定法に当たるものです。当然、動詞の定形もこれまで学んできたものと違います。

「コーヒーを（できれば）一杯いただきたい（のですが）」の、カッコのなかの言葉が「そうあってほしい、不確かなこと」を言い表しています。そのことによって遠慮する気持とていねいな感じが、相手につたわります。

Ich möchte ein Zimmer mit Bad.

イッヒ メヒテ アイン ツインマァ ミット バート

➡ I'd like a room with bath.

訳 バスつきの部屋をお願いしたいのですが。

Ich möchte eine Krawatte kaufen.

イッヒ メヒテ アイネ クラヴァッテ カオフェン

➡ I want to buy a necktie.

訳 ネクタイを買いきたいのですが。

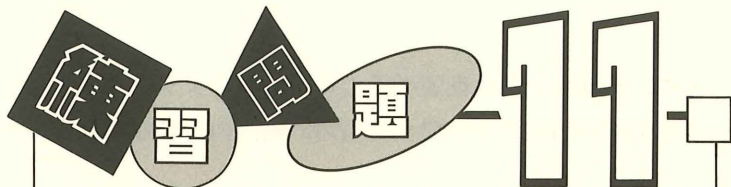
英語にくらべると、ドイツ語の会話はていねいです。たとえば、

Geben Sie mir bitte～.

ゲーベン ズィー ミーア ビッテ

Please, give me～.

くらべてみると、「どうぞ私にください」と言うために、ドイツ語は「どうぞ、あなたが私にください」というように、敬称の **Sie**（あなた）を使っています。



つぎの文を訳してみましょう。4のカッコの中は省略されることがあります。

1. Er kann hoch springen.
2. Alle Studenten dürfen die Bibliothek benutzen.
3. Ich mag ihn jetzt nicht sehen.
4. Jetzt müssen wir nach Hause (gehen).
5. Wir sollen ehrlich sein.
6. Ich will einmal nach Deutschland fahren.

解 答

1. 彼は高く跳ぶことができる。
2. すべての学生は図書館を利用してよい。
3. 私はいま彼に会いたくない。
4. 私たちはもう家に帰らなければならない。
5. 私たちは正直であるべきだ。
6. 私は1度ドイツへ行こうと思っている。



12 動詞の過去形

ドイツ語の動詞の形は英語と似ており、現在形・過去形・未来形・現在完了形・過去完了形・未来完了形があります。

そのほかに、「11. 話法の助動詞」の項目で説明したように、英語の仮定法にあたる接続法という形もあります。

ここでは過去形を説明していきますが、そのまえに現在・過去・過去分詞の順に、いくつかの代表的な動詞の活用を挙げてみましょう。

1 綴りの変化が少ないもの（弱変化・規則動詞）

現 在	過 去	過去分詞	意 味
lernen レルネン	lernte レルンテ	gelernt ゲレルント	学ぶ
lieben リーベン	liebte リープテ	geliebt ゲリープト	愛する

2 綴りの変化が激しいもの（強変化・不規則動詞）

現 在	過 去	過去分詞	意 味
essen エッセン	aß アース	gegessen ゲゲッセン	食べる
gehen ゲーエン	ging ギング	gegangen ゲガンゲン	行く

kommen コメン	kam カーム	gekommen ゲコメン	来る
geben ゲーベン	gab ガープ	gegeben ゲゲーベン	与える

3 変化が1と2の混合（混合変化・不規則動詞）

現 在	過 去	過去分詞	意 味
bringen ブリンゲン	brachte ブラハテ	gebracht ゲブラハト	持っていく
denken デンケン	dachte ダハテ	gedacht ゲダハト	考える

4 特殊な形の sein, haben, werden

sein（ザイン、である）と **haben**（ハーベン、持つ）と **werden**（ヴェーアデン、になる）は、いずれにも属さない変化を示します。

現 在	過 去	過去分詞	意 味
sein ザイン	war ヴァール	gewesen ゲヴェーゼン	～である
haben ハーベン	hatte ハッテ	gehabt ゲハーブト	持つ
werden ヴェーアデン	wurde ウルデ	geworden ゲウオルデン	～になる

さてここで過去形の勉強として、少し長い文章を紹介しましょう。『グリム童話』のなかの、「狼と七匹の仔山羊」という童話の書出しの文章です。

Es war einmal eine alte Geiß, die hatte

エス ヴァール アインマル アイネ アルテ ガイス ティー ハッテ

sieben junge Geißlein. Eines Tages wollte sie

スィーベン ユンゲ ガイスライン アイネス ターゲス ヴォルテ ズィー

in den Wald gehen und Futter holen.

イン デン ヴァルト ゲーエン ウント フッター ホーレン

☞ There was (← It was) once an old goat, who had seven young kids. One day she wanted to go in the wood and get food.

訳 昔々一匹の年老いた山羊がいました。その山羊には七匹の幼い子供の山羊がいました。ある日、年老いた山羊は森のなかへ行き餌をとってくることにしました。

Es war は **Es ist (It is)** の過去形, **die hatte** は **die hat** の過去形, **wollte sie** は (動詞・主語) **will sie** の過去形です。なお, **gehen** と **holen** は, 不定詞です。

kommen の過去形は人称によって, つぎのように変化します。

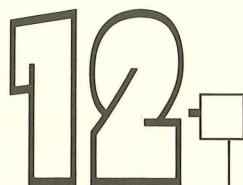
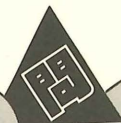
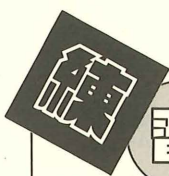
ich kam wir kamen

du kamst ihr kamt

er } sie kamen

sie } kam

es }



つぎの文を訳してみましょう。

1. Ich war gestern bei meinem Onkel.
2. Was für Blumen brachtet ihr eurer kranken Tante ?
3. Kolumbus entdeckte Amerika.
4. Er ging gestern ins Kino.
5. Die Tränen traten ihm in die Augen.
6. Er sandte einen Boten zum Arzt.

解 答

1. 私はきのうおじのところへ行っていた。
2. 君たちはどんな花を病気のおばに持っていったのか。
3. コロンブスはアメリカ（大陸）を発見した。
4. 彼はきのう映画に行った。
5. 涙が彼の目にあふれた（← **treten** ・出る）。
6. 彼はその医師に使いの者をやった。（← **senden** ・送る）。



13 過去分詞

これまでに過去分詞の例として, **lernen** → **gelernt** (学ぶ), **lieben** → **geliebt** (愛する), **essen** → **gegessen** (食べる) など, いくつかのものをみてきました。

この過去分詞は, 英語と同じく **haben** (持つ), または **sein** (である) と結びついて完了形をつくります。

Ich habe es gesehen.

イッヒ ハーベ エス ゲゼーエン

➡ I have seen it.

訳 私は (それを) 見た。

Ich bin gekommen.

イッヒ ビン ゲコメン

➡ I have come.

訳 私は来た。

どういう動詞が **haben** でなく **sein** と結びつくかは, 121 ページの「現在完了」の項目で説明します。

過去分詞はまた, 名詞と結びついて形容詞にもなります。

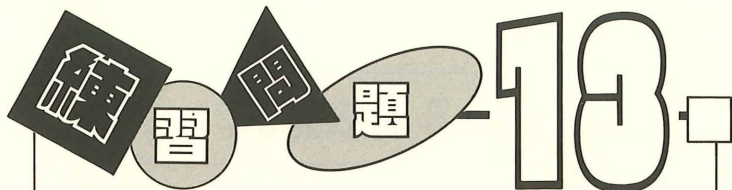
das verbotene Spiel

(verboten, 禁じる)

➡ the forbidden play

(forbid, 禁じる)

訳 禁じられた遊び



下に不定詞とそれぞれの過去分詞が挙げてあります。

不定詞と過去分詞を正しく結んでみましょう。

- | | |
|-----------------|--------------|
| • kommen (来る) | • gehabt |
| • sehen (見る) | • gekommen |
| • lieben (愛する) | • gewesen |
| • gehen (行く) | • gesprochen |
| • haben (持つ) | • gesehen |
| • sein (ある) | • geliebt |
| • sprechen (話す) | • gesungen |
| • singen (歌う) | • gegangen |

解 答

kommen → gekommen, sehen → gesehen

lieben → geliebt, gehen → gegangen

haben → gehabt, sein → gewesen

sprechen → gesprochen

singen → gesungen



14 未来形と受動態をつくる werden

werden (ヴェーアデン) という言葉には、いろいろな働きがあります。

①英語の **become** (なる) という意味の動詞になります。

Er wird Arzt.
エア ヴィルト アールツト

彼は医者になる。

Es wird Nacht.
エス ヴィルト ナハト

夜になる。

②英語の **will**・**shall** のように、未来形をつくります。

Mein Freund Hans wird euch besuchen.
マイン フロイント ハンス ヴィルト オイヒ ベズーヘン

私の友人のハンスは君たちを訪れるだろう。

③ **werden** + 過去分詞で受動態をつくります。

英語でいえば、be 動詞 + 過去分詞 (= sein + 過去分詞) となるのですが、ドイツ語では違います。

Er macht das Fenster kaputt.
エア マハト ダス フェンスタア カプット

彼は窓を壊す。

この能動態の文章を werden を使って受動態にすると、
つぎようになります。

Das Fenster wird von ihm kaputtgemacht.

ダス フェンスタァ ヴィルト フォン イーム カプット ゲマハト

➡ The window is broken by him.

訳 窓が彼によつて壊される。

以上, wird には

①～になる

②～だろう

③～される

の3つの使い方がありますが、いずれの場合もつぎのよう
な人称変化をします。

	単 数	複 数
1 人称	ich werde イッヒ ヴェーアデ	wir werden ヴィーア ヴェーアデン
2 人称	du wirst ドゥ ヴィルスト	ihr werdet イーア ヴェーアデット
3 人称	er wird エア ヴィルト	sie werden ズィー ヴェーアデン

動詞としての werden は, du と er のときに e → i と変
化します。過去形は **wurde**, 過去分詞が **geworden** です。

werden	du wirst er wird	wurde (過去形)	geworden (過去分詞)
---------------	-----------------------------------	-----------------------	---------------------------

したがって受動態の過去は, wurde が用いられてつぎの

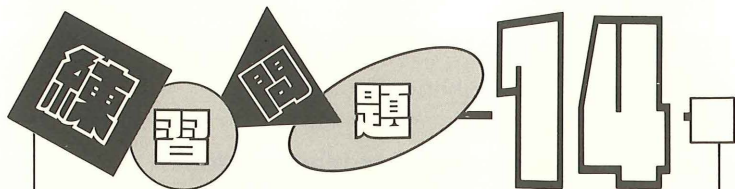
ようになります。(loben・ほめる)

Der Sohn wurde von seiner Mutter gelobt.

デア ソーン ヴルデ フォン ザイナア ムッタァ ゲローブト

息子は(彼の)母親にほめられた。





つぎの文を訳してみましょう。

1. Ich will sie heiraten.
2. Mein Freund wird euch besuchen.
3. Er wird fleißig Deutsch lernen.
4. Ein Brief wird von ihr geschrieben.
5. Ein Buch wurde mir von ihm gegeben.
6. Das Zimmer wurde mit Blumen geschmückt.

解 答

1. 私は彼女と結婚するつもりだ (未来形)。
2. 私の友人は君たちを訪れるだろう (未来形)。
3. 彼は熱心にドイツ語を学ぶだろう (未来形)。
4. 手紙が彼女によって書かれる (受動態)。
5. 本が彼によって私に与えられた (受動態)。
6. 部屋が花で飾られた (受動態)。



15 現在完了

ドイツ語の完了形と英語の完了形は、とても似ています。

	ドイツ語	英語
現在完了	$\left. \begin{array}{l} \text{haben} \\ \text{ハーベン} \\ \text{sein} \\ \text{ザイン} \end{array} \right\} + \text{過去分詞}$	have + 過去分詞
過去完了	$\left. \begin{array}{l} \text{hatte} \\ \text{ハッテ} \\ \text{war} \\ \text{ヴァール} \end{array} \right\} + \text{過去分詞}$	had + 過去分詞
未来完了	$\left. \begin{array}{l} \text{werden} \\ \text{ヴェーアデン} \end{array} \right\} \begin{array}{l} + \text{過去分詞} \\ + \text{haben} \\ \text{ハーベン} \\ + \text{sein} \\ \text{ザイン} \end{array}$	$\left. \begin{array}{l} \text{will} \\ \text{shall} \end{array} \right\} \text{have} + \text{過去分詞}$

ドイツ語が助動詞として haben のほかに sein も用いる点が、英語と異なります。

まず現在完了についてその人称変化を見、つぎに haben を使った完了形, sein を使った完了形の例文を読むことにしましょう。

sehen (見る)

ゼーエン

ich habe

ハーベ

du hast

ハスト

er hat

ハット

gesehen

ゲゼーエン

wir haben

ハーベン

ihr habt

ハーブト

sie haben

ハーベン

gesehen

ゲゼーエン

大部分の動詞は **haben** を完了の助動詞とします。

Sie hat ihr Wörterbuch verloren.

ズィー ハット イーア ヴェルターブーフ フェアローレン

彼女は（彼女の）辞典をなくしてしまった。

kommen (来る)

コメン

ich bin

ビン

du bist

ビスト

er ist

イスト

gekommen

ゲコメン

wir sind

ズイント

ihr seid

ザイト

sie sind

ズイント

gekommen

ゲコメン

sein を完了の助動詞としてとるのは、「場所の移動」と「状態の変化」を表す自動詞です。

Der Frühling ist gekommen.

デア フリュERING イスト ゲコメン

春が来た。

sein を完了の助動詞としてとる自動詞をつぎに挙げま

す。

a) 「場所の移動」を表す自動詞の代表的な例

fahren ファーレン	車で行く
fallen ファレン	落ちる
fliegen フリーゲン	飛ぶ
gehen ゲーエン	行く
kommen コメン	来る
laufen ラウフェン	走る
sinken ズインケン	沈む
steigen シュタイゲン	のぼる

b) 「状態の変化」を表す自動詞の代表的な例

aufstehen アオフシュテーエン	起きる
einschlafen アインシュラーフェン	眠り込む
erwachen エァヴァッヘン	目ざめる
geschehen ゲシエーエン	起こる
reifen ライフェン	熟する
sterben シュテルベン	死ぬ

wachsen
ヴァクセン

成長する

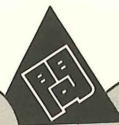
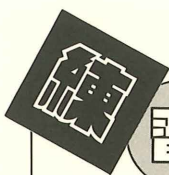
werden
ヴェーアデン

なる

最後にもう一度繰り返すと、過去完了は、英語の「had＋過去分詞」と同じ「**haben** の過去＋過去分詞」でつくる形と、「場所の移動」と「状態の変化」を示す動詞の場合の「**sein** の過去＋過去分詞」でつくる形があります。

しかし、sein は「場所の移動」と「状態の変化」を示す動詞だけでなく、**bleiben** (滞在する) ブライベン といった特殊な動詞とも結びついて完了形をつくれます。





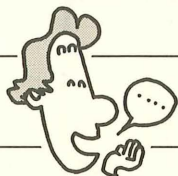
15

つぎの文を訳してみましょう。

1. Ich bin einmal in Deutschland gewesen.
2. Der Frühling ist gekommen.
3. Ich habe den Brief geschrieben.
4. Sie ist auf den Turm gestiegen.
5. Er hat gestern mit ihr getanzt.
6. Er ist nach Berlin abgefahren.

解 答

1. 私はドイツにいたことがある (**gewesen** は **sein** の過去分詞です)。
2. 春が来た。
3. 私は手紙を書いてしまった。
4. 彼女は塔に登った。
5. 彼はきのう彼女と踊った。
6. 彼はベルリンへ出発した。



16 過去完了

過去完了は英語と同じく、物事が過去のある時点までに完了していることを示し、**hatte(war)**+過去分詞の形をとります（つまり現在完了と同様 haben と sein の2つの形があるわけです）。

sehen (見る)

ゼーエン

ich hatte

ハッテ

du hattest

ハッテスト

er hatte

ハッテ

gesehen

ゲゼーエン

wir hatten

ハッテン

ihr hattet

ハッテット

sie hatten

ハッテン

gesehen

ゲゼーエン

このように過去完了も、**gesehen**（ゲゼーエン）という過去分詞をとります。ich hatte, du hattest…という haben(持つ)の過去形の人称変化に、過去分詞が加わるわけです。なお、**haben**の過去分詞は **gehabt**（ゲハープト）、**sein**の過去分詞は **gewesen**（ゲヴエーゼン）です。

Er ist nach Amerika gefahren, kurz nachdem er
エア イスト ナーハ アメーリカ ゲファーレン クルツ ナーハデーム エア

seine Arbeitsstelle verlassen hatte.

ザイネ アルバイツシュテレ フェアラッセン ハッテ

彼は勤め先をやめて（やめるとすぐに・過去完了）、アメリカへ行った（現在完了）。

ではつぎに、sein(である)の過去形に過去分詞をプラスしてつくる、過去完了形をみていきましょう。

kommen (来る)

ich war
ヴァール

du warst
ヴァースト

er war
ヴァール

gekommen
ゲコメン

wir waren
ヴァーレン

ihr wart
ヴァート

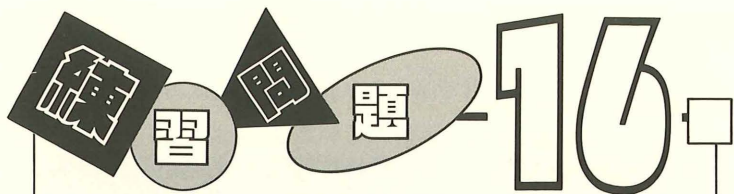
sie waren
ヴァーレン

**gekomm-
en**
ゲコメン

Als er ankam, war der Zug schon abgefahren.

アルス エア アンカーム ヴァール デア ツーク ショーン アップゲファーレン

彼が到着した（過去）とき，列車はもう出た（過去完了）
あとだった。

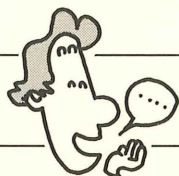


つぎの文を訳してみましょう。

1. Vorgestern habe ich sie gesehen.
2. Er ist schon eine Stunde geschwommen.
3. Gestern abend sind wir ins Kino gegangen.
4. Er hatte schon das Buch gelesen, als ich ihn besuchte.
5. Nachdem der Vater gestorben war, entstand ein Streit unter ihnen.

— 解 答 —

1. 私はおととい彼女に会った。
2. 彼はもう1時間泳いだ。
3. 私たちは昨晚映画に行った。
4. 私が彼を訪れたとき、彼はもう本を読んでしまっていた。
5. 父が死んだのち、彼らのあいだに争いが起こった。



17 未来完了

ドイツ語の未来完了も英語と同じく、未来のある時点までに完了しているであろう動作を述べます。形も「I shall have+過去分詞」と同じで、**ich werde+過去分詞+haben**（私は～してしまっているでしょう）となります。

なお、未来完了にもまた、**haben** をとるもの、**sein** をとるものと2つの形があります。

sehen (見る)

ゼーエン

ich werde
ヴェーアデ

du wirst
ヴィルスト

er wird
ヴィルト

gesehen
haben

wir werden
ヴェーアデン

ihr werdet
ヴェーアデット

sie werden
ヴェーアデン

gesehen
haben

sein と結びつく動詞 **kommen**（来る）の未来完了は、**werden+gekommen sein** です。

では、実際に例文を見ていきましょう。

Morgen nachmittag werde ich diese Arbeit beendet
モルゲン ナーハミッターク ヴェーアデ イッヒ ディーゼ アルバイト ベエンデット

haben.
ハーベン

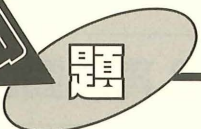
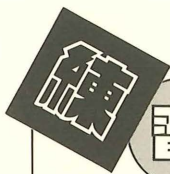
あすの午後にはこの仕事は終わっているだろう。

Der Arzt wird um sechs von Bonn abgefahren sein.

デア アールツト ヴィルト ウム ゼックス フォン ボン アップゲファアレン ザイン

その医師は6時にボンを出発しているだろう。





17

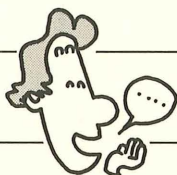


つぎの文を訳してみましょう。

1. Bis morgen wird er das geschafft haben.
2. Das Baby wird schon eingeschlafen sein.
3. Morgen nachmittag werde ich diesen Roman gelesen haben.
4. Morgen um diese Zeit werde ich Ihren Wagen repariert haben.
5. Bis ihr hierher kommt, wird der Schnee schon geschmolzen sein.

解 答

1. 彼は明日までにそれをやりとげているだろう。
2. 赤ん坊はもう寝込んでしまっているだろう。
3. 明日の午後には私はこの小説を読んでしまっているだろう。
4. 明日の今ごろには私はあなたの車を修理してしまっているだろう。
5. 君たちがここへ来るまでに、雪はとけてしまっているだろう。



18 再帰動詞

下の文の **mich** は形としては、ich の 4 格と同じですが、意味は「私を」ではなくて「私自身」となります。つまり、英語で言えば myself にあたります。

sich は主語に応じて (再帰代名詞と呼びます), 「私」が **mich** (← ich), 「君」が **dich** (← du), 「彼」が **sich** (← er), 「私たち」が **uns** (← wir), 「君たち」が **euch** (← ihr), 「彼 (彼女・それ) ら」が **sich** (← sie) となります。

このように **sich** (英・oneself) を伴って主語の動作が再び主語に帰ることを表す動詞を、再帰動詞と言います。

Ich fühle mich nicht wohl.

イチ フューレ ミッヒ ニヒト ヴォール

☞ I don't feel well.

訳 私気分がすげません。

つぎの文の 1) の **mich** は人称代名詞で、2) の **sich** は再帰代名詞です。

1) **Er liebt mich.** 彼は私を愛する。

2) **Er liebt sich.** 彼は彼自身を愛する。

再帰動詞の過去形を挙げます。

Die Mutter setzte sich auf das Sofa.

ディー ムッター セッツテ ズイッヒ アオフ ダス ソファ

➡ The mother settled herself on the sofa.

訳 母はソファに座った。

settled herself は、「どっかりと腰を落ち着けた」という意味ですが、seat（座る）は再帰動詞として用いられないので、あえて、seat → settle として訳しました。

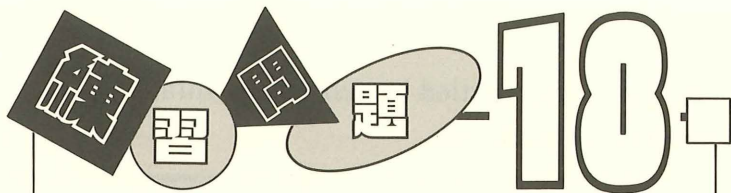
また、再帰動詞にはmirやsichなど3格の再帰代名詞を伴うものもあります。

Stellen Sie sich bitte vor.

シュテレン ズィー スィッヒ ビッテ フォーア

どうぞ想像してください。（sich は3格）



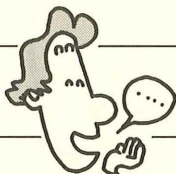


つぎの文を訳してみましょう。

1. Ich freue mich sehr, Sie kennenzulernen.
2. Wir freuen uns über deinen Erfolg.
3. Er erholt sich im Urlaub.
4. Der Vater setzte sich auf die Bank.
5. Ich kann mir seinen Namen nicht merken.
6. Das kann ich mir gut vorstellen.

解 答

1. あなたと知り合いになれて、私はたいへんうれしい。
2. 私たちは君の成功を喜ぶ。
3. 彼は休暇のあいだ休養する。
4. 父はベンチの上に腰を下ろした。
5. 私は彼の名をおぼえることができない。
6. 私はそれを十分想像することができる。



19 非人称動詞

自然現象や心理状態を述べるときは、人称代名詞の **es** を主語として用います。

この場合、**es** は文として必要であるために用いられており、「それ」とは訳さないなので、**非人称主語**と呼びます。

用いられる動詞はかならず **3 人称単数**が使われ、その動詞は**非人称動詞**と呼ばれます。

Es regnet.

エス レーグネット

It is raining.

雨が降る。

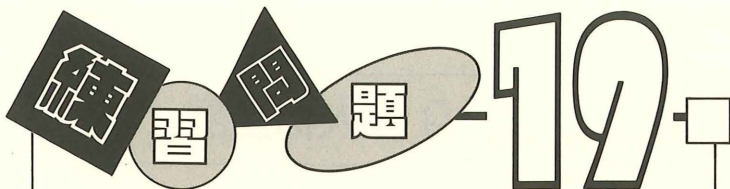
schneit (雪が降る), **dunkelt** (暗くなる), **friert** (氷が張る), **donnert** (雷が鳴る), **blitzt** (いなずまが光る) なども同様に **es** を主語として表現します。

心理、すなわち感情や感覚を述べるときは、動詞によって心理の主体が **3 格**または **4 格**になります。

Es freut mich (dich, ihn...) .

エス フロイト ミッヒ

私 (君・彼...) はうれしい。

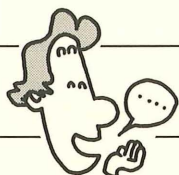


つぎの文を訳してみましょう。

1. Es schneit.
2. Heute regnet es seit dem Morgen.
3. Es gibt auch manchmal einen Sturm.
4. Heute ist es mir kalt.
5. Es friert mich.
6. Es grünt und blüht bereits überall.

解 答

1. 雪が降る。
2. きょうは朝から雨が降っている。
3. ときどき暴風雨もある。
4. きょうは私は寒い。
5. 私は寒い。
6. すでにいたるところで緑が芽をふき、花が咲いている。



20 分離動詞

ankommen (到着する) の **an** や **zurückkommen** (帰る, 戻る) の **zurück** には, **kommen** よりも強いアクセントがあります。このような動詞の前綴りは, 動詞の本体から分離して文の終わりに置かれます。

aufstehen (立ち上がる) → **stehen**~**auf**

kennenlernen (知合いになる) → **lernen**~**kennen**

teilnehmen (参加する) → **nehmen**~**teil**

そのほか, **ab**, **zu**, **ein** などが動詞から分離します。

では, 実際の文章で例をみていきましょう。つぎのように, 主文のなかの動詞が分離します。

Er kommt heute von der Reise zurück. (正置)

エア コムト ホイテ フォン デア ライゼ ツリュック

彼は旅行からきよう戻る。

Heute kommt er von der Reise zurück. (倒置)

ホイテ コムト エア フォン デア ライゼ ツリュック

きよう彼は旅行から戻る。

Komm sofort von der Reise zurück! (命令)

コム ソフォアト フォン デア ライゼ ツリュック

ただちに旅行から戻れ。

接続詞に導かれる副文 (つぎの文の **daß** 以下の文) のなかの動詞は, 分離しないで文末に後置されます。

Ich weiß, daß er heute von der Reise zurückkommt.

イッヒ ヴァイス ダス エア ホイテ フォン デア ライゼ ツリュックコムト

私は彼がきょう旅行から戻ることを知っている。

分離動詞の多くは、その基本となる動詞から派生した意味を持ちます。たとえば kommen (来る) の意味から派生した **ankommen** (到着する) や **zurückkommen** (戻る) などがそうです。しかしなかには、auf etwas ankommen (何かに依存する) のように、基本となる動詞「来る」の意味を持たない語もあります。

Es kommt auf das Wetter an.

エス コムト アオフ ダス ヴェッタァ アン

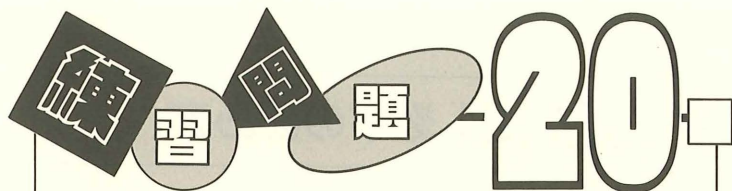
お天気しだいです。

またこれらの分離動詞は、話法の助動詞 (können や müssen) が入ると文末に不定詞のまま置かれます。

Ich muß ihn heute abend anrufen.

イッヒ ムス イーン ホイテ アーベント アンルーフェン

今晚彼に電話をしなければなりません。



つぎの文を訳してみましょう。

1. Ich stehe früh auf.
2. Er steht jeden Morgen früh auf.
3. Der Zug fährt durch.
4. Er kommt heute von der Reise zurück.
5. Er setzt die Leute mit seinem Boot über.
6. Er übersetzt diesen Roman ins Japanische.

解 答

1. 私は早く起きる。
2. 彼は毎朝早く起きる。
3. その汽車は通りすぎる。
4. 彼は旅行からきょう戻る。
5. 彼は人々をボートで向こう岸へ渡す。
6. 彼はこの小説を日本語に翻訳する。



21 数字の読み方

数字には1, 2, 3… (英語の one, two, three…) という**基数**, つまり**基^{もと}になる数字**と, 1ばん目, 2ばん目, 3ばん目… (英語の first, second, third…) という**序数**, つまり**順序を示す数字**とがあります。この2つをまとめて**数詞**と呼びます。

基数

1	eins アインス	11	elf エルフ
2	zwei ツヴァイ	12	zwölf ツヴェルフ
3	drei ドライ	13	dreizehn ドライツェーン
4	vier フィーア	14	vierzehn フィアツェーン
5	fünf フュンフ	15	fünfzehn フュンフツェーン
6	sechs ゼックス	16	sechzehn ゼヒツェーン
7	sieben ズィーベン	17	siebzehn ズィーブツェーン
8	acht アハト	18	achtzehn アハツェーン
9	neun ノイン	19	neunzehn ノインツェーン
10	zehn ツェーン	20	zwanzig ツヴァンツィヒ

21	einundzwanzig アインウントツヴァンツィヒ	40	vierzig フィアツィヒ
22	zweiundzwanzig ツヴァイウントツヴァンツィヒ	50	fünfzig フュンフツィヒ
23	dreiundzwanzig ドライウントツヴァンツィヒ	100	(ein)hundert アイン フンダート
24	vierundzwanzig フィーアウントツヴァンツィヒ	101	hundertheins フンダートアインス
25	fünfundzwanzig フュンフウントツヴァンツィヒ	1000	(ein)tausend アイン タオゼント
30	dreißig ドライスイヒ	10000	zehntausend ツェンタオゼント

つぎに序数を挙げます。基数と同じところと違うところを、よく注意しておぼえてください。

序数

1	erst エーアスト	9	neunt ノイント
2	zweit ツヴァイト	10	zehnt ツェント
3	dritt ドリット	11	elft エルフト
4	viert フィーアト	12	zwölft ツヴェルフト
5	fünft フュンフト	13	dreizehnt ドライツェント
6	sechst ゼックスト	14	vierzehnt フィアツェント
7	siebt ズィーフト	15	fünfzehnt フュンフツェント
8	acht アハト	16	sechzehnt ゼヒツェント

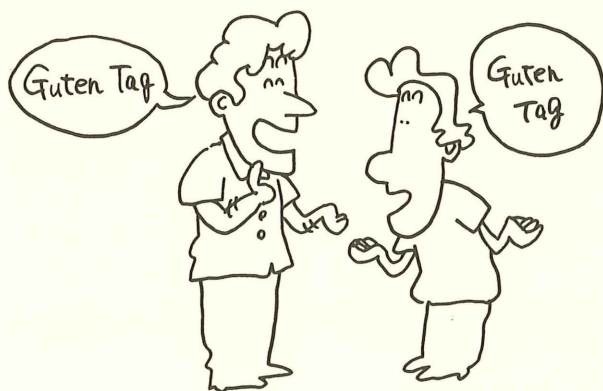
17	siebzehnt ズイーブツェーント	25	fünfundzwanzigst フュンフウントツヴァンツィヒスト
18	achtzehnt アハツェーント	30	dreißigst ドライスイヒスト
19	neunzehnt ノインツェーント	40	vierzigst フィアツィヒスト
20	zwanzigst ツヴァンツィヒスト	50	fünfzigst フュンフツィヒスト
21	einundzwanzigst アインウントツヴァンツィヒスト	100	hundertst フンダアット
22	zweiundzwanzigst ツヴァイウントツヴァンツィヒスト	101	hundert[und]erst フンダアト[ウント]エーアスト
23	dreiundzwanzigst ドライウントツヴァンツィヒスト	1000	tausendst タオゼンツト
24	vierundzwanzigst フィーアウントツヴァンツィヒスト	10000	zehntausendst ツェーエンタオゼンツト

ではつぎに、注意すべき数字、日常よく使われる数字の読み方を挙げます。

- 3 マルク60ペニヒ …**drei Mark und sechzig Pfennig**
- 4 時 5 分すぎです ……………**Es ist fünf nach vier.**
- 12時30分すぎです ……………**Es ist halb eins.**
- トマト 2 kg ……………**zwei Kilo Tomaten**
- サクラランボ 2 ポンド ……………**zwei Pfund Kirschen**
- 私は19歳です ……………**Ich bin neunzehn Jahre alt.**
- 1972年 ……………**Neunzehnhundertzweiundsiebzig**

以上，ドイツ語を学ぶうえで必要最小限の文法を学習してきました。しかし，それですぐに文がスラスラ読めるというわけにはいきません。たくさんの文章に慣れて，はじめて読解力が身につくのです。何度も繰り返し練習する努力を忘れないでください。

さて，つぎの4章は，明日から役に立つ会話の学習です。ドイツ語は音の区切りが明確ですから，英語よりもわかりやすいはずです。



4

簡単な会話をマスターしよう

この章では、別売のカセットをぜひ活用してください。あなたのペースに合わせて、ときどきカセットを止めては本の説明を読み、またテープのヒアリングを繰り返すうちに、いつの間にかドイツ語がすらすらと口から出るようになります。



会話の基本となる言葉

- ☒ はい..... **Ja.**
ヤー
- ☒ いいえ..... **Nein.**
ナイン
- ☒ こんにちは..... **Guten Tag.**
グーテン ターク
- ☒ さようなら..... **Auf Wiedersehen.**
アオフ ヴィーダァゼーエン
- Tschüß.**
チュス
- ☒ またあとで..... **Bis später.**
ビス シュペーター
- Bis nachher.**
ビス ナーハヘーア
- ☒ ありがとうございます... **Vielen Dank.**
フィーレン ダンク
- Danke schön.**
ダンケ シェーン
- ☒ どういたしまして..... **Bitte schön.**
ビッテ シェーン
- Bitte sehr.**
ビッテ ゼーア
- ☒ 何ですか..... **Was ?**
ヴァス
- ☒ 誰が..... **Wer ?**
ヴェーア
- ☒ どこへ..... **Wohin ?**
ヴォーヒン

☑どこから……………**Woher ?**
ヴォーヘーア

☑いつ、何時に……………**Wann ?**
ヴァン

☑どこで……………**Wo ?**
ヴォー

☑なぜ……………**Warum ?**
ヴァルム

☑いくらですか……………**Was kostet das ?**
ヴァス コステット ダス



会話の基本となる表現

1

何ですって？

Wie bitte ?

ヴィー ビッテ

wieは英語の how にあたり、どのようなという意味で
ヴィー
す。相手にもう一度繰り返してもらいたいときに用います。

2

もう一度お願いします。

Nochmal (=Noch einmal) bitte.

ノッホマール

ノッホ アインマール ビッテ

1の**wie bitte**をはっきりともう一度、とお願いするとき
ヴィー ビッテ
の表現です。言葉だけでなく、行為をもう一度繰り返して
ほしい場合の表現としても使います。

3

ゆっくりお願いします。

Langsam bitte.

ラングザーム ビッテ

langsam (ゆっくり), **schnell** (すばやく) などいずれ
ラングザーム シュネル
も形容詞です。

4

1つ(個)ください。

Einen (Eine, Eins) bitte.

アイネン アイネ アインス ビッテ

bitteは**danke**と共にもっともよく使われる表現で、英語
ビッテ ダンケ
の please, thank you にあたります。「どういたしまして」
の表現でも**Bitte schön**, **Bitte sehr**と使われました。

Einenや**eine**, **eins**は不定代名詞です。このほか、
アイネン

einmal bitte (1つください) という表現也使います。
アインマール ビッテ

5

これをください。

Ich möchte das.

イッヒ メヒテ ダス

直訳すると「私はそれをほしい」になります。**möchte**は
メーゲン**mögen** (助動詞, かもしれない) の過去形 モヒテ**mochte** が変音
 して **möchte** となった **接続法II式** の形で (接続法について
 は108ページで説明しました), きわめてていねいな言い方
 です。**das** は, 定冠詞にもありますが, ここでは指示代名詞
 として単独で使われます。**それ, これ**, の意味です。欲し
 いものを指さしてこう言えば間違いなく通じます。

6

すみませんが。/失礼ですが。

Entschuldigen Sie bitte.

エントシュルディゲン ズイー ビッテ

英語の **excuse** にあたるのが **entschuldigen** です。**Sie** が
エントシュルディゲン**Entschuldigen** ズイー**Sie** が
 主語で, ていねいな命令の表現です。ドイツ語で一番最初
 におぼえるべき表現の1つと言えます。

7

さようなら, 楽しい夕べを

Einen schönen Feierabend.

アイネン シェーネン ファイアーアーベント

schön はすばらしいという意味の形容詞で, **-en** がつい
シェーン**schön** はすばらしいという意味の形容詞で, **-en** がつい
 ているので4格です。**Feierabend** は日本語には訳しにく
ファイアーアーベント**Feierabend** は日本語には訳しにく
 い単語ですが, 1日の仕事が終わったあとの時間を指しま
 す。つまり, 学校では**放課後**, 会社では**アフターファイブ**
 (終業後) のことです。1日の仕事を終えて帰宅する人が上
 司や同僚に対してさようならの意味でこの表現を使います。

8

すばらしい週末を。

Ein schönes Wochenende.

アイン シェーネス ヴォヘンエンデ

週末にはこの言い方を使います。**Wochenende**(週末)
ヴォヘンエンデ
 は中性名詞，4格です。

9

うれしいです。

Es freut mich.

エス フロイト ミッヒ

直訳すると，es（それ）が mich（4格）を **freut**（喜ばせる）するとなります。食事に招かれたり，プレゼントをもらったときに使う言葉です。おぼえておくと便利な表現ですから，ぜひ暗記しておきましょう。



レストランで

1

さあ召し上がってください。

Guten Appetit.

グーテン アペティート

直訳は、よい (**gut**)、食欲を (**Appetit**) となり、**guten** の語尾の -en により **Appetit** が 4 格であることがわかります。ドイツでは食べる前に招いた人がまずこのように言いますが、招かれた人も同じように言います。また、家庭で食事をする場合も同じです。

2

ありがとうございます、あなたも同じように (召し上がれ)。

Danke, gleichfalls.

ダンケ グライヒファルス

danke は **danken** (感謝する) の主語 (ich) が省略された形、**gleichfalls** は副詞で同じようにの意味です。相手と同じ気持ちである場合や感謝の表現をそっくり相手に返したいときの表現です。ですから、たとえば別れるときに、“さようなら、気をつけて”と言われた場合、この表現をそっくりそのまま使えばよいのですし、食事のときの、召し上がってくださいのお返しにもこの表現がぴったりです。

3

おいしいですか？

はい。とてもおいしいです。

Schmeckt es Ihnen (dir) ?

シュメックト エス イーネン ディーア

Ja, es schmeckt mir sehr gut.

ヤー エス シュメックト ミーア ゼーア グート

かならずおぼえておきたい表現の1つです。

schmeckenという動詞は、非人称の**es**を主語にして使う

シュメッケン

エス

ことがほとんどです。その場合、意味上の主語=おいしく

感じる人は3格で表します。ここでは**mir**がきています。で

ミーア

すから、「おいしいですか？」にあたるドイツ語の

Schmeckt es ?は、“あなたにとって”の3格**Ihnen**が入っ

シュメックト エス

イーネン

て、**Schmeckt es Ihnen ?**としたほうがより正確な文とな

シュメックト エス イーネン

ります。

4

いいえ、もう結構です。

Nein, es reicht mir.

ナイン エス ライヒト ミーア

動詞**reichen**(足りる、十分である)も、非人称の**es**を主

ライヒェン

エス

語にして、人の3格を意味上の主語にとります。1格の**ich**

イッヒ

は使いません。何かすすめられたときの断りの表現で、食

事以外の場合も「もう結構です」の意味でこの言い方が使

われます。

5

ほんの少し、お願いします。

Ein bißchen bitte.

アイン ビスヒェン ビッテ

ein bißchenは、この形のままで、ほんの少し、ちよつ
アイン ビスヒェン
との意味でよく使われます。同じく、**ein wenig** とも言い
アイン ヴェーニツヒ
ます。

6

あとで、コーヒーをください。

Nachher einen Kaffee bitte.

ナーハヘーア アイネン カフェー ビッテ

nachherは副詞で、あとでの意味、**Kaffee**は男性名詞、
ナーハヘーア カフェー
einenがついていますから4格です。正式にはコーヒー1
アイネン
杯は**eine Tasse Kaffee**ですが、このように省略して使わ
アイネ タッセ カフェー
れることがよくあります。

7

仔牛のカツとポテトサラダ、ライスつきでお願い
します。

Ich nehme ein Kalbschnitzel mit Reis

イッヒ ネーメ アイン カルプシュニツツェル ミット ライス

und einem Kartoffelsalat.

ウント アイネム カルトツフェルザラート

これはドイツのレストランでもっとも日本人の口に合い
そうなメニューの1つです。ドイツの**Kartoffeln**(じゃがい
モ)はととても有名ですね。**Schnitzel**はパン粉の衣のついた
カルトツフェルン
カツです。このほか、**Kalbsbraten**(仔牛のステーキ)もお
シュニツツェル
カルプスブラーテン
すすめ品です。**nehmen**は英語の**take**にあたります。

また、**Suppe** (スープ、女性名詞)には
ネーメン
ズッペ

8

玉ねぎスープ

Zwiebelsuppe

ツヴィーベルズッペ

9

肉入りシチュー

Gulaschsuppe

グラシュズッペ

などがあります。

スープが出たついでに飲み物の説明もしましょう。

10

ミネラルウォーター

Mineralwasser

ミネラルヴァッサー

オレンジジュース

Orangensaft

オレンジensaft

たとえば、オレンジジュースを注文したいときには、

Orangensaft bitte. と言います。

オレンジensaft ビッテ



街角で

1

すみません、中央駅にはどう行ったらよいですか。

Entschuldigung, wie komme ich zum
エントシュルディグング ヴィー コメ イッヒ ツム

Hauptbahnhof ?
ハオプトバーンホーフ

Entschuldigungは失礼、失敬にあたる名詞。**zu**は～へ
エントシュルディグング ツー
の意味の前置詞で、あとに3格の名詞や代名詞が来ます。

Hauptbahnhofは男性名詞、中央駅です。ドイツに旅行に行
ハオプトバーンホーフ
った際、実際に使いそうな言葉をつぎのページに挙げてお
きましょう。上記の文章の**Zum Hauptbahnhof** (中央駅に
ツム ハオプトバーンホーフ
は)の部分にあてはめて使います。

2

見本市会場には **zum Messeplatz** (男性名詞)
ツム メッセプラッツ

放送展覧会場には

zur Rundfunkschau (女性名詞)
ツアー ルントフンクシャウ

郵便局には **zur Post** (女性名詞)
ツアー ポスト

宮殿前の広場には

zum Schloßplatz (男性名詞)
ツム シュロスプラッツ

オリンピックスタジアムには

zum Olympiastadion (中性名詞)
ツム オリュムピアシュターディオン

地下鉄の駅には

zur U-Bahnstation (女性名詞)
ツアー ウーバーンシュタツィオン

入口には **zum Eingang** (男性名詞)
ツム アインガング

出口には **zum Ausgang** (男性名詞)
ツム アウスガング

また、これらの表現の後に**bitte**をつければ、タクシーに
ビッテ
乗るときにもそのまま使えます。

3

焼きソーセージとパン1つ、それに（コカ）コーラを1つください。

Ich hätte gern eine Bratwurst mit

イッヒ ヘッテ ゲルン アイネ ブラートヴルスト ミット

Brötchen und eine Cola bitte.

ブレートヒェン ウント アイネ コーラ ビッテ

街角のソーセージ売りの店で使う表現です。Ich möchteでもよいのですが、買物のときにはこのIch hätte
 がよく使われます。接続法II式を使った非常にいい言い方です。^{メヒテ}Bratwurstは焼きソーセージのこと、^{イッヒ}ゆでソーセージは^{ヘッテ}Bockwurstと言います。mitは英語のwithにあたり〜つき、^{イッヒ}Brötchenはアンパンのような小さいパンのことです。^{ヘッテ}コーラはColaと書き、女性名詞。hätte(〜したい)の目的語はみな、4格になります。また、^{ヘッテ}gern(好んで、副詞)とともによく使われます。^{ゲルン}



駅の窓口で

1

ハンブルクまで片道を2枚、インターシティー急行をお願いします。

Zweimal nach Hamburg, einfach, mit
ツヴァイマル ナーハ ハンブルク アインファツハ ミット

I C-Zuschlag bitte.
イーツェー ツーシュラーグ ビツテ

行く先を示す**nach**はつけなくても大丈夫です。

片道は**einfach**、往復の場合には**hin und zurück**と言いま
アインファツハ ヒン ウント ツリュック
す。I C (インターシティー) 急行は高速鉄道です。
イーツェー

Zuschlagは割り増し券、急行券のことです。ドイツでは汽
ツーシュラーグ
車の中で切符を買うことはしません。他の交通機関もそう
ですが、切符を持たないで乗車すると不正乗車
(**Schwarzfahrt**) になり、罰金や割増料金をとられます。
シュヴァルトツファート
時々検札官 (**Kontrolleur**) がやってきて取り締まっていま
コントローラー
す。また、ドイツの駅の切符売り場にはほとんどいつも数
人のお客が並んでいますから、遅くとも発車の20分前には
駅の窓口 (**Schalter**) に行くことをおすすめします。

シャルター

2

ベルリンのツォー駅まで行くのですが、どこで乗り換えですか。

Ich fahre nach Berlin, Bahnhof Zoo. Wo

イッヒ ファーレ ナーハ ペアリーー ー バーンホーフ ツォー ヴォー

kann ich da umsteigen ?

カン イッヒ ダー ウムシュタイゲン

ベルリンのZoo駅は有名ですね。kannは助動詞^{ツォー}**können**^{カン}（～できる）の定形です。^{ゲネン}**umsteigen**は乗り換えるの意味の分離動詞です（分離動詞の詳しい説明は137ページをみてください）。

ドイツの駅には、発車時刻表（**Abfahrt**^{アップファート}表）があちこちに貼ってあります。自分の乗りたい時刻のところを見ればすべての列車のリストがその発車順に示されています。なお、駅の何番線にあたる表現は、ドイツではホームではなく、**Gleis**（中性名詞）です。^{グライス}3番線でしたら**Gleis 3**^{グライス ドライ}です。

さらに、月曜日から金曜日までの週日（**Werktag**^{ヴェアクターク}）と日曜、祭日（**Feiertag**^{ファイアーターク}）では時刻表にずれがあるときもあります。注意しましょう。



デパートなどの店内で

1

すみません。あなたはこちらの店員さんですか。

Entschuldigung, sind Sie hier

エントシュルディグング ズイント ズィー ヒーア

zuständig ?

ツーシュテンディヒ

店内で誰にたずねたらよいかわからないとき、店員らしき人に問いかける表現です。**zuständig** はまかされている、担当している、の意味の形容詞です。

ちょっと店内を見ただけなのですが、よろしいですか。

2

Könnte ich mich ein wenig

ケンテ イッヒ ミッヒ アイン ヴェーニツヒ

umsehen ?

ウム ゼーエン

könnte は können 〜できるの過去形 **konnte** が変音したもので、**möchte**、**hätte** と同じくていねいな表現です。

umsehen はあちこち見るという動詞です。

3

試着していいですか。

Darf ich anprobieren ?

ダルフ イッヒ アンプロビーレン

衣類などを試着するときは、**probieren** (〜を試しにやってみる) という動詞に **an** をつけた **anprobieren** を用います。これは分離動詞ですが、話法の助動詞 **darf** があるため分

離しません。**darf** は～してよいかの意味で使われます。

4

大きい(小さい) サイズはありますか。

Hätten Sie noch etwas größeres

ヘッテン ズイー ノッホ エトヴァス グレーセレス

(kleineres) ?

クライネレス

大きい・小さいは**groß・klein**でした。その比較級は -er がついて**größer** (この言葉は変音します) と**kleiner** になります。この文章では**größer** も **kleiner** も **hätten** (haben の接続法II式, ていねいな表現で4格を支配する点は同じです) の目的語ですから, **etwas größeres** は何かより大きなものを, となります。このように **etwas** と **groß** などが結びつくと **etwas** の s に合わせて語尾に s がつきます。

5

レジはどこですか。

Wo ist die Kasse ?

ヴォー イスト ディー カッセ

Kasse は大学の会計課, 銀行の現金支払い窓口など, お金の出し入れに関係するところを示します。

6

いくらですか。

Was kostet das ?

ヴァス コステット ダス

ここでの **das** は定冠詞ではなく, 指示代名詞の1格で, それはの意味です。**kosten** という動詞はこの場合自動詞で, 値段がいくらという意味になります。was のかわりに **Wieviel** (いくつ) が使われることもあります。

ヴィーフィール

こうした質問には, たとえば,

Fünfzehn Mark und sechzig Pfennig. (15マルク60ペ

フュンフツェーン マルク ウント ゼヒツィヒ プフェニツヒ

ニヒです)と答えますが、通常は **Pfennig** は省略されます。

7

VISA カードで支払えますか。

Könnte ich mit VISA-Karte bezahlen?

ケンテ イッヒ ミット ヴィザァ カルテ ベツァレーン

könnte は160ページの2と同じく接続法II式、ていねいな表現です。**bezahlen** (～を支払う) は4格支配の動詞。
ベツァレーン
レストランで「お勘定をお願いします」と言うときは、
zahlen を使って **Zahlen bitte** と言うか、**Rechnung bitte** と
ツァーレン ツァーレン ビッテ レヒヌング ビッテ
言います。ただ注意したいのは、**Rechnung** (計算書、勘定書) は比較的高額なものの場合に使うということです。

8

すみません。袋をください。 **Eine Tüte bitte.**

アイネ テューテ ビッテ

レジでの表現で、**Tüte** (女性名詞) はナイロンや紙の袋のことです。袋をもらうには10ペニヒくらい払わなければなりません。物を無駄にしないドイツ人独特の配慮からでしょう。

※なお、4の etwas は別売のカセットテープではとれております。



ホテルのフロントで

1

部屋はまだありますか。

Hätten Sie noch ein Zimmer frei ?

ヘッテン ズィー ノッホ アイン ツインマア フライ

hättenは**haben** (持つ) のていねいな表現です。部屋は
^{ヘッテン} ^{ハーベン}
Zimmer (中性名詞), **frei**は空いている, です。席やトイ
^{ツインマア} ^{フライ}
レの空きも**frei**です。反対語は**besetzt** (ふさがっている)
^{フライ} ^{ベゼット}
になります。

2

1人部屋で、バスつきがよいのですが。

Ich möchte ein Einzelzimmer mit Bad.

イッチ メヒテ アイン アインツェルツインマア ミット パート

ein Einzelzimmerは1人部屋を1つ、中性名詞の4格
^{アイン} ^{アインツェルツインマア}
です。**Bad**は(中性名詞)バスのことです。この場合は**mit**
^{パート} ^{ミット}
のあとなので3格になっていますが、冠詞は使いません。
この表現に類するものに

3

シャワーつきの部屋

ein Zimmer mit Dusche.

アイン ツインマア ミット ドゥーシェ

があります。

4

その部屋は朝食つきでいくらですか。

Was kostet das Zimmer mit Frühstück ?

ヴァス コステット ダス ツインマア ミット フリューシュテュック

「いくらですか」はWas kostet?でした。それならば、な
^{ヴァス} ^{コステット}

ぜここで**das Zimmer**として定冠詞**das**がついているので
ダス ツインマア
 しょうか。それは、話し手と聞き手の間に、その部屋とい
 う特定の認識ができているからです。どれでもよいから部
 屋を1つ、の場合には不定冠詞の**ein**をつけます。**朝食**のこ
アイン
 とは**Frühstück** といいます。
フリュージュテュック

チェックアウトは何時ですか。

5

Bis wann muß ich das Zimmer

ビス ヴァン ムス イッヒ ダス ツインマア

freimachen ?

フライマッヒェン

Bis wannは「いつまでに」の意味。英語のチェックイ
ビス ヴァン
 ン、チェックアウトをそのまま使う人もいます。

このハガキを日本に出したいのですが。

6

Ich möchte diese Postkarte nach Japan

イッヒ メヒテ ディーゼ ポストカルテ ナーハ ヤーパン

schicken.

シッケン

Ich möchteは「私は～したい」の意味の表現で、非常に
イッヒ メヒテ
 頻繁に使われる言葉です。**Postkarte**はハガキで、
ポストカルテ
Ansichtskarteは絵ハガキです。そのほか、**Brief** (手紙)
アンズィヒツカルテ ブリーフ
 や**Paket** (小包) もおぼえておくと便利な言葉でしょう。
パケート
schickenは送る、発送するの意味の単語です。
シッケン

7

日本円をドイツマルクに両替していただけますか。

Könnten Sie Yen in D-Mark wechseln ?

ケンテン ズィー イェン イン デー マルク ヴェクセルン

この表現で大切なのは**wechseln**（換える，交換する）という動詞です。このひと言を言っただけで相手に意図が伝わる場合もあります。両替所は**Wechsel**（男性名詞）。お金は駅や銀行の**Kasse**（勘定場・女性名詞）で交換してくれますが，ホテルのフロントでももちろん大丈夫です。



ビジネス上の表現

商用でハンブルクに行くところです。

1

Ich bin auf einer Geschäftsreise nach

イッヒ ビン アオフ アイナァ ゲシェフツライゼ ナーハ

Hamburg.

ハムブルク

これまでに何度も出てきましたが、**auf**は前置詞で英語で言えば on にあたります。**Geschäftsreise**は商用の旅です。女性名詞の3格になっています。

ミュラー氏にお会いしたいのですが。

2

Ich hätte gern mit Herrn Müller

イッヒ ヘッテ ゲルン ミット ヘルン ミュラー

gesprachen.

ゲシュプロッシェン

hätte～**gesprachen**は149ページのIch möchte das. の文章で説明したように接続法II式を使ったていねいな表現。

ミュラー氏はHerr Müllerですが、**mit**のあとは3格で

Herrn Müllerとなります。

ヘルン ミュラー

3

今日、午前10時にお会いできるアポイントメントをいただいております。

Heute morgen um 10(Uhr) haben wir
ホイテ モルゲン ウム ツェーン(ウーア) ハーベン ヴィーア
einen Termin.
アイネン テルミーン

heuteは副詞で今日、**einen Termin**は会う日時の約束、
ホイテ アイネン テルミーン
 アポイントメントのことで、男性名詞の4格です。**um**は時
ウム
 間の前につく前置詞です。

Heute 以下が文頭にきているので、**wir haben**が入れ
ヴィーア ハーベン
 替わっています。

会話は、実際に口に出して言えるようになることが必要です。何回も繰り返し文章を読みカセットを聞いて、暗記するようにしましょう。つぎは、ドイツ語の文の意味を読みとる力を養う章です。



5

やさしい文章に挑戦しよう

外国語は耳で聞いてわかり、口に出すことができ、読んでわかる必要があります。つまり、**hören** (聞く) と **sprechen** (話す) と **lesen** (読む) の3要素が必要不可欠なのです。

この章の文の意味が理解できたら、カセットで聞いてその意味がわかるかどうか、試してみましょう。はじめはまったく聞き取れなくても、練習を繰り返すうちに必ず上達します。

それぞれに文法的な説明も加えてあります。必要に応じて億劫がらずに3章「文法の基礎を身につけよう」を参照しましょう。外国語習得のコツは一にも二にも反復練習です。

この最後の章では、短いドイツ語の文章を読んでいきます。発音から始まって、文法から会話まで読んでこられたみなさんの頭には、ドイツ語に対するアンテナがしっかりと備わっているはずです。しかし、いくら haben や sein の変化をおぼえたからといって、すぐに文章が読めるわけではありません。たとえばつぎの文を見てください。

Der junge Kellner hat eine schwere Arbeit.

その若いボーイは1つの辛い仕事を持っている。

動詞のほかに冠詞や形容詞の変化にも慣れていないと、こんなに短い文章でも意味をつかむことはできません。

また、文法の知識をたくわえれば済むというものでもありません。つぎの文は **Hier** や **dort** を副詞であると識別する能力よりも、**Theater** が英語の theater(-tre)であり、**Telefon** が英語の telephone であると気づく勘のほうが大切です。

Hier ist das Theater ; dort ist das Telefon.

ここにその劇場があり、あそこにその電話がある。

さらに、こうした勘を養うほかに、何よりも肝腎なことは、文章をたくさん読む心がけです。ある程度継続的に学習して、この章のドイツ語がすべてわかるレベルに早く達

するよう、がんばってください。

彼は日本人ですか。

Ist er Japaner?

イスト エア ヤバーナァ

はい、彼は日本人です。

Ja, er ist Japaner.

ヤー エア イスト ヤバーナァ

いいえ、彼は日本人ではありません。

Nein, er ist kein Japaner.

ナイン エア イスト カイン ヤバーナァ

ist は sein (である) の変化形です。

いま彼はドイツ語を学んでいます。あなたもドイツ語を学んでいますか。

Jetzt lernt er Deutsch. Lernen Sie auch Deutsch?

イエッツト レルント エア ドイチュ レルネン ズイー アオホ ドイチュ

いいえ、私はドイツ語ではなくてフランス語を学んでいます。

Nein, ich lerne kein Deutsch, sondern Französisch.

ナイン イッヒ レルネ カイン ドイチュ ゾンダアン フランツェーズィシュ

jetzt は「いま」、**kein~sondern** は「～でなくて～である」です。

auch は「～も」。

lernen は、**ich lerne, wir・Sie lernen, er lernt** の語尾変化をしましたね。

すばらしいクリスマスと幸福な新年を。

Schöne Weihnachten und ein glückliches Neues

シェーネ

ヴァイナハテン

ウント

アイン

グリュックリッヒェス

ノイエス

Jahr.

ヤール

schön は「美しい、すばらしい」(形容詞)。

Weihnachten は「クリスマス」(名詞, 複数)。

und は「そして」(英・and) という意味です。

ein glückliches Neues Jahr (英・a happy new year, 「ひとつの・幸福な・新しい・年」) です。

Jahr (年) は中性名詞・単数, 4 格 (「～を」) になります。

形容詞の glückliches と Neues の-s は, 定冠詞 das の-s で, これは形容詞の混合変化です。

よい本はよい友である。

Ein gutes Buch ist ein guter Freund.

アイン グーテス

ブーフ

イスト

アイン

グーター

フロイント

gutes が形容詞の中性の混合変化で, **guter** が形容詞の男性の混合変化です。

その年老いたヘルガ嬢は少し近視です。彼女は古い物にたいしてある偏愛を持っていて, 古い絵画あるいは古い陶器を集めています。

Das alte Fräulein Helga (Frau Helga) ist etwas
ダス アルテ フロイライン ヘルガ フラオ ヘルガ イスト エトワス

kurzsichtig. Sie hat eine Vorliebe für alte Dinge
クルツズイヒティヒ ズィー ハット アイネ フォーアリーベ フューア アルテ ディンゲ

und sammelt alte Bilder oder altes Porzellan.
ウント ザンメルト アルテ ビルダァ オーダァ アルテス ポルツェラーン

この文章の中には、動詞が *ist*, *hat*, *sammelt* と 3 つあります。これらの動詞の不定詞はそれぞれ **sein** (である), **haben** (持つ), **sammeln** (集める) です。

kurzsichtig (近視の) の **kurz** は「近い, 短い」で, **sichtig** は **Sicht** (眺め, 視度) の形容詞です。

Vorliebe (偏愛) の *Liebe* は, 「愛」です。

スイス人はたいてい, ドイツ語だけでなくフランス語も話します。

Die Schweizer sprechen nicht nur
ディー シュヴァイツァァ シュプレッヒェン ニヒト ヌーア

Deutsch sondern auch Französisch.
ドイチュ ソンダァン アオホ フランツェーズィシュ

Schweiz (スイス) は女性名詞の単数。-er がついた **Schweizer** (スイス人) は, 単数も複数も同じ形で, 男性名詞です。der でなく die がつき, **spricht** でなく **sprechen** が用いられているので, ここでは「スイス人たち」(複数) の意味になります。

nicht nur~sondern の **nur** は「だけ」(英・only) の意味です。 **sondern** はさきに *Ich lerne kein Deutsch, sondern Französisch.* という形で出てきました。

Deutsch と **Französisch** は「ドイツ語とフランス語」,
Japanisch と **Italienisch** は「日本語とイタリア語」です。

お邪魔になりますか。

Stört es Sie ?

シュテアー ト エス ズイー

いいえ、ぜんぜん邪魔ではありません。

Nein, es stört mich gar nichts.

ナイン エス シュテアー ト ミッヒ ガール ニヒツ

stören (→ **stört**) という動詞は、「邪魔をする、妨げる」という意味です。目的語は4格(「～を」)をとります。

上の文は、**es** が主語で、**Sie** (あなたを) は **stören** の目的語になっています。

gar は「まったく」。**nichts** は副詞の **nicht** よりも強い意味で、不定代名詞です。直訳すれば、「いいえ、それはまったく私を邪魔しません」になります。

私のクラスに今週新しい先生が来ます。彼女はたいへん若く、青い目をしています。女子生徒は彼女を非常にかわいいと思っており、男子生徒もそうです。

Meine Klasse hat diese Woche eine neue Lehrerin :

マイネ クラッセ ハット ディーゼ ヴォッヘ アイネ ノイエ レーリン

sie ist sehr jung und hat blaue Augen. Die

ズイー イスト ゼーア ユング ウント ハット ブラオエ アオゲン ディー

Schülerinnen finden sie sehr hübsch, die Schüler

シューレリンネン フィンデン ズイー ゼーア ヒュプシュ ディー シューラー

auch !

アオホ

diese Woche は「今週」(英・this week)の意味。

Lehrerin は「女の先生」で、**Lehrer** が「男の先生」、**lehren** は「教える」です。(Lehren ist Lernen. は「教えること
レ-レン イスト レアネン
は学ぶことである」になります。)

Augen (目) は **Auge** の複数形。目や口や鼻や手といった身体に関する単語は、56ページに載っています。

Schüler・Schülerin が「男子生徒・女子生徒」の単数形で、複数形は **Schüler・Schülerinnen** になります。

毎日曜日の11時にブラウン氏は彼の庭へ行き、その芝の上の青い椅子に座ります。

Jeden Sonntag um elf Uhr geht Herr Braun in seinen
イエーデン ソンターク ウム エルフ ウーア ゲート ヘア ブラウン イン ザイネン

Garten und sitzt in seinem blauen Stuhl auf dem
ガルテン ウント スイット イン ザイネム ブラオエン シュトゥール アオフ デム

Rasen.
ラーゼン

Jeden Sonntag (毎日曜日) は、英語の every Sunday にあたります。

um elf Uhr (英・at eleven o'clock) の **Uhr** は、「時計、時刻」で、**um** は「～(時) に」の意味です。

sein (英・his, its) を **mein** (英・my) や **dein** (英・your) と **ihr** (英・her, their) を **Ihr** (英・あなたの・your) と、**unser** (英・our) を **euer** (英・君たちの・your) と いっしょにしておぼえましょう。sein や mein には不定冠詞や複数語尾がつきます。

geht (← gehen, 行く) と **sitzt** (← sitzen, 座る) がこの文の動詞です。

geht (行く) とこの場合の sitzt (座る) は移動を示すので、4 格を伴います。

今日は、市場では何があるのですか。

Was gibt es heute auf dem Markt?

ヴァス ギープト エス ホイテ アオフ テム マルクト

日本語の「～があります」にあたるのが、この非人称動詞の用法 **es gibt** の表現です。

gibt は geben (与える) が人称変化した、動詞の定形です。

Was gibt es の直訳は、「それが何を与えますか」になります。Was はここでは geben (～を与える) の目的語となり、「何を」という意味を持ちます (was は 4 格です)。この文章において was は意味上の主語になっています。

Was gibt es denn? は、よく用いられる表現です。「いったい、どうしたのですか」と訳します。また、「今晚、コンサートがあります」は、つぎのように言います。

Heute Abend gibt es ein Konzert.

ホイテ アーベント ギープト エス アイン コンツェルト

私たちはすでに300のドイツ語の単語を知っています。それを使って、ひとはたくさんのことを述べることができます。けれども、私たちはすべてのことを述べる(する)ことはできません。

Wir kennen schon dreihundert deutsche Wörter.
ヴィーア ケネン ショーン ドゥライフンデアト ドイチェ ヴェルター

Damit kann man viele Sachen beschreiben. Aber
ダミット カン マン フィーレ ザッヘン ベシュライベンアーバア

wir können damit nicht alles machen.
ヴィーア ケンネン ダミット ニヒト アレス マッヘン

kennen は「(人) 知っている」という動詞です。

schon は「すでに」。

dreihundert deutsche Wörter は、「300のドイツ語の単語 (単数形→ Wort)」です。

damit は「それをもって」。この場合は **da** は「300のドイツ語の単語」を指し、**mit** は英語で言えば with です。この場合、with them に置きかえることができます。

kann man viele Sachen beschreiben は、英語の (語順をドイツ語にそろえれば) can one many things describe (ひとは多くのことを述べることができる) にあたります。

können は「できる」で、「する (ことが)」の意味である **machen** につづきます。

machen は、英語の do, make です。

nicht alles は英語の not everything, つまり「すべてのことを述べる (する) ことはできない」という部分否定です。

以前はそこに何が建っていたんですか？

Was stand da früher ?

ヴァス シュタント ダー フリュアー

以前はそこに城が建っていました。

Früher stand da ein Schloß.

フリューアー シュタント ダー アイン シュロス

Was はこの場合、「何が」という主語になります。

stand は、**stehen** (シュテーエン・立っている) の過去形です。

da は「そこに」です。**hier** (ヒーア・ここに) といっしょに、**hier und da** (英・here and there) 「あちこちで」という句をつくります。

früher は「以前は」という副詞，あるいは「より早い」という形容詞になり，**früh** (早い) という語の比較級です。

ein Schloß は、「ひとつの城」で，中性名詞です。

以上は単数形についての説明です。

クラウドはサラリーマンです。彼は銀行員として(銀行で)働いています。学生時代には経済学を学びました。

Klaus ist Angestellter. Er arbeitet in einer

クラウス イスト アンゲシュテルター エア アルバイテット イン アイナ

Bank. In der Schulzeit hat er

バンク インデア シュールツァイト ハット エア

Wirtschaftslehre gelernt.

ヴィルトシャフトツレーレ ゲレルント

Angestellter (サラリーマン) のような職業を示す語や、

Student (学生) のように、身分を示す語には、冠詞がつかないきまりです。

この文章の動詞は **ist** (である), **arbeitet** (働く), **hat gelernt** (勉強した) です。「勉強した」は「haben+過去分詞」ですから、現在完了形です。

Wirtschaft には、「経済、経営」という意味があり、それに「～の」という意味で-s がついて **Wirtschafts** となり、さらに **Lehre** (教義、学説) がついて「経済学」という意味になります。「社会学」は-lehre のつかない **Soziologie** (ゾツィオロギー) です。

Bankbeamter (銀行員), **Beamte** (職員) を使う場合があります。**Schulzeit** は Schule (学校)+Zeit (時代) です。

工業技術は人間をこの地球の主人にしましたが、それは人間(←彼)を機械の奴隷にもしたのです。

Die Technik machte den Menschen zum Herrn der
ディー テヒニク マハテ デン メンシェン ツム ヘルンデア

Erde, aber sie machte ihn auch zum Sklaven der
エールデアーバアズィー マハテ イーンアオホ ツム スクラーヴェンデア

Maschine.
マシーネ

Technik は「工業技術」(英・technique でなくて technology)。

machte は「つくる (machen・マッヘン)」の過去形です。動詞には **geben** (与える) → **gab** (与える) のよう

に、語幹の綴りが変化するものと、この **machte** のように語尾に **-te** がつくものがあります。**haben** (持つ) も **hatte** と変わります。

machte den Menschen zum Herrn der Erde は、「人間 (Menschen) をこの地球 (Erde) の主人 (Herrn) にした。」 **zum** は **zu dem** (英・to the)。

auch は「～も、もまた」(英・also) です。

あなたがドイツにいたときに、何を(あなたは)研究されましたか。

Was haben Sie studiert, als Sie in Deutschland

ヴァス ハーベン ズィー シュトディーアト アルス ズィー イン ドイチュラント

waren ?

ヴァーレン

Sie (大文字) は「あなた(がた)」, **sie** (小文字) は「彼女・彼(女)ら・それら」です。

haben studiert は「学んだ」(現在完了・haben+過去分詞)。

als は「～の時」で、過去形を導きます。現在形を導くときは **wenn**。

waren は、sein (である) の過去形です。副文内ですので、文の最後にきました。「私(ich)」のときは **war** となります。

テロリストたちがフランクフルトを爆撃した。ドイツマルクがふたたび値上がりした。

Terroristen haben in Frankfurt ein Bombenattentat
テロリストエン ハーベン イン フランクフルト アイン ボムベンアッテンタート

verübt. Die D-Mark ist wieder einmal gestiegen.
フェアユーブト ディー デー・マルク イスト ヴィーダァ アインマルル ゲシュティーゲン

Terroristen は **Terrorist** の複数形です。**Terror** (テロル・恐怖) に -ist がついた語です。

haben verübt は、現在完了形。

ein は「1回の～を」(4格) という意味です。

ist gestiegen (← steigen・登る, 物価が高まる) は、「移動を表す自動詞」の現在完了形ですので, **haben** ではなく **ist** (← sein) が用いられています。

誰といっしょに行つたのですか。

Mit wem sind Sie gegangen?
ミット ヴェーム スィント ズィー ゲガンゲン

mit wem は、英語の with whom です。**wer** (誰か, 1格) は **wessen** (2格)・**wem** (3格)・**wen** (4格) と格変化します。

gegangen は「行く」(gehen・ゲーエン) の過去分詞です。「行く」「来る」「乗物で行く (fahren)」などの「移動を表す自動詞」は, sein で完了形をつくります。

彼は来年スイスへ行くでしょう。

Nächstes Jahr wird er in die Schweiz fahren.
ネーヒステス ヤール ヴィルト エア イン ディー シュヴァイツ ファーレン

nächst は、「もっとも近い」です。「今年」は **dieses Jahr**

(この・年), 「去年」は **letztes Jahr** (この前の・年) です。

wird は未来形の助動詞です。 **werde・wirst・wird・werden・werdet・werden** と人称変化します。

明日には私の手紙は、おじのもとに届いているでしょう。

Morgen wird mein Brief bei meinem Onkel sein.

モルゲン ヴィルト マイン ブリーフ バイ マイネム オンケル ザイン

wird～sein は、英語で言えば will be になります。

bei meinem Onkel は、bei (のそばに、3格支配の前置詞) + 「私のおじ」です。

mein Brief は、「私の手紙」で、この文章の主語です。

私がようやく駅についたときには、汽車はもう出てしまっていました。

Der Zug war schon abgefahren, als ich endlich am

デア ツーク ヴァール ショーン アップゲファーレン アルス イッヒ エントリヒ アム

Bahnhof ankam.

バーンホーフ アンカーム

上の文の **war abgefahren** は「(sein の) 過去 + (abfahren の) 過去分詞」で、過去完了形です。2つの「時」の前後関係を表す手法で、英語の場合と同じです。

abfahren は、「発車する」の意味。

ankam は、**ankommen** (着く) の過去形です。

endlich は、Ende (終わり) という名詞に-lich がついて、「ようやく、やっと」という意味の副詞になったもので

す。「有限の」という形容詞にもなります。

am は92ページでみたように, an dem (英・to the) が詰まったものです。

Zug は「汽車」です。

Bahnhof は「駅」を示す言葉。「駅」については **Station** (シュタツィオン・停車場) という語もあります。これは英語と同じスペルです。

生きているすべてのものは、一度は死ななければなりません。

Alles, was lebt, muß einmal sterben.
アレス ヲアス レープト ムス アインマル シュテルベン

形容詞の **all** (=英・all, すべての) は **aller・alle・alles** (男性・女性・中性) の形を持ちますが、この文の **Alles** は形容詞の **alles** が名詞化したものです。

was は, Was ist das? (これは何ですか) というように用いられるほかに、この文のように**関係代名詞**としても用いられます。104ページで学んだようにこれは不定関係代名詞でしたね。

lebt は er lebt (← leben・生きている) と同じ変化で、**sterben** (死ぬ) は助動詞 **muß** (müssen が変化したもの) があるために、不定詞になっています。

この小説は英語で書かれ、ドイツで出版されました。

Dieser Roman ist in England geschrieben und in
ディーザァ ロマーン イスト イン エングラント ゲシュリーベン ウント イン

Deutschland veröffentlicht worden.

ドイチュラント フェアエッフエントリヒト ヴォルデン

geschrieben は schreiben(書く)の, **veröffentlicht** は veröffentlichen(出版する)の過去分詞です。

この文の最初の動詞である **ist geschrieben** は, **veröffentlicht** と同じように「werden+過去分詞」の受動態が sein 動詞と結びついて現在完了形をつくっています。そのとき, werden の過去分詞 geworden は **worden** となります。**werden** はまた, 定動詞と結びついて未来形もつくります。

妻が重く病んでいる(重い病気である)その男は, 彼女を病院に訪ねます。

Der Mann, dessen Frau schwer krank ist, besucht
デア マン デッセン フラオ シュヴェーア クランク イスト ベズーフト

sie im Krankenhaus.
ズイー イム クランケンハオス

dessen は関係代名詞であり, 2 格です。**der · des · dem · den** は定冠詞ですが, 2 格以外は関係代名詞にもなって, 定関係代名詞と呼ばれ, 発音も変わります。

定関係代名詞の **der · dessen · dem · den** はデア・デッセン・デーム・デーンとのばして発音します。

im は **in dem** が詰まったものです。

上の文を英語に直訳すると, つぎのようになります。

The man, whose wife is heavily ill, visits her in the hospital.

彼は毎朝窓を開けます。私は彼が毎朝窓を開けることを知っています。

Er macht jeden Morgen das Fenster auf. Ich weiß,

エア マハト イエーデン モルゲン ダス フェンスタァ アオフ イッヒ ヴァイス

daß er jeden Morgen das Fenster aufmacht.

ダス エア イエーデン モルゲン ダス フェンスタァ アオフマハト

jeden Morgen は「毎朝」(英・every morning)。jeden は **jeder** の 4 格です。

Er macht~auf は、分離動詞です。つぎに出てくる **auf-**
macht は、副文 (daß に導かれる文) であるために、分離
しないで文末に後置されます。

aufmachen は「開ける」、auf は「の上に」、machen は
「する、つくる」です。「auf+動詞」の形はこのほかにもた
くさんあります。

weiß は、wissen (知る) が変化したものです。

どうぞ私に紅茶を 1 杯もってきてください。

Bringen Sie mir bitte eine Tasse Tee!

ブリンゲン ズィー ミーア ビッテ アイネ タッセ テー

上の文の動詞 **Bringen** は、**Sie** (敬称の「あなた」) に対
するていねいな命令です。Sie が用いられるのがドイツ語
の特徴で、これを下のように英語に置きかえた場合、Sie
(you) はいりません。

Bring to me (ich → mir) please a cup of tea !
 ではつぎに, du (君) に対する命令形を説明します。

私に紅茶を1杯もってこい！

Bringe (Bring) mir eine Tasse Tee !

ブリンゲ ブリンダ ミーア アイネ タッセ テー

Bringe は, **ich bringe** ・ **du bringst** ・ **er bringt** と変化するべきところを, **du bringst** → **du bringe** と変えられています。これで **du** (君) に対する命令形になります。

Sie に対して	du に対して	ihr に対して
-en Sie !	-e !	-t !

命令形には, Sie (あなた・あなたたち) と du (君) に対する形と, ihr (君たち) に対する形があります。語尾を表にすると, 上のようになります。各々感嘆符がつきます。

lernen (学ぶ)	lernen Sie !	lerne !	lernt !
kommen (来る)	kommen Sie !	komm !	kommt !
sprechen (話す)	sprechen Sie !	sprich !	spricht !

kommen が du に対して用いられると, **komme** → **komm** となり, **sprechen** は **sprech** ではなくて **sprich** になります。というのも, **ich spreche** ・ **du sprichst** (e → i ・ **er spricht** (e → i) と変化するからです。

つぎのハンブルク行きの汽車がいつ発車するのか、知りたいのです。

Ich möchte wissen, wann der nächste Zug nach
イッヒ メヒテ ヴィッセン ヴァン デア ネーヒステ ツーク ナーハ

Hamburg abfährt.
ハンブルク アップフェーアト

möchte の不定詞は **mögen** (メーゲン・好む) です。ich mag・du magst・er mag と変化します。

ところが、上の文は ich mag → ich möchte という、過去形の ich mochte (私は好んだ) が変音した形をとっています。**ich möchte** は接続法II式でしたね。

ich	現在	過去	接続法II式
	mag	mochte	möchte

接続法には間接話法のとくに用いられるI式と、「事実ではなく願望や可能性としての、可能性が少ないというニュアンス」の、「できれば～したい」という言い方のII式とがあります。

I式は (ich mag・du magst・er mag は同じですが)、ich komme・du kommst・er komme というように **er** の動詞が変わります。

会話では接続法II式が、頻繁に用いられます。

現在	過去	接続法 II
haben(持つ)	hatte	hätte
sein(ある)	war	wäre
werden(なる)	wurde	würde

Ich möchte wissen には「できれば知りたいのですが」という遠慮の気持ちを示す「～知りたいのです」という日本語訳があてられます。

これは英語の I would like to know (I want to know ではない) に相当します。

Zug nach Hamburg は、「ハンブルク行き (に向かう) 汽車」です。

abfährt は「発車する」です。**ab・fahren** の fahren は「乗物で行く」を意味し、**ich fahre・du fährst・er fährt** と変化します。

wann～abfährt は、wann (いつ?) に導かれる文のなかの動詞の abfährt が、主たる動詞 (主たる動詞は möchte wissen) でないために、文末に来ています。

なお、接続法 II 式の表現には、現実とは相反する非現実話法もあります。たとえば、つぎのような言い方です

Sonst hätte ich gerne gekauft.

ゾinst ヘッテ イッヒ ゲルネ ゲカオフト

そうでなければ喜んでそれを買ったのですが (→実際には

買っていない)

これでいかがでしょうか。

Wie wäre es ?

ヴィー ヴェーレ エス

今度の金曜日ではいかがでしょうか。

Wie wäre es mit dem kommenden Freitag ?

ヴィー ヴェーレ エス ミット デム コメンデン フライターク

これも接続法II式が用いられている文です。Wie wäre es?は、Wie ist es? (それはどのようなであるか) を接続法にした文です。

kommenden Freitag の kommenden は、kommen の現在分詞である kommend に、語尾の-en がついたものです。不定詞に **-d** をつけると、現在分詞ができます。

kommen 来る	過去分詞	現在分詞
	gekommen	kommend

英語の come・came・come の3つ目の come にあたるのが gekommen であり、coming (きたるべき) にあたるのが kommend です。上の Freitag は「金曜日」ですから、「きたるべき金曜日→今度の金曜日」となるわけです。

mit は、Wie wäre es のつぎに、「～がどうであるか」を導いて、習慣的に用いられる言葉です。

これがいいです。

Das gefällt mir.

ダス ゲフェルト ミーア

非常に楽しかったです。

Das hat mir sehr gefallen.

ダス ハット ミーア ゼーア ゲファレン

Das gefällt mir. という現在形の文を現在完了に直し sehr (非常に) をつけると Das hat mir sehr gefallen. という文章になります。

「これがいいです」は店頭などで使われるせりふであり、「非常に楽しかったです」はパーティーに行ったりしたときに使われるせりふです。

gefällt (現在) も **gefallen** (過去分詞) も、「(あるものが) 気に入る」という意味の **gefallen** (不定詞と過去分詞が同形) の変化です。人の 3 格 (〜に) を導く動詞です。

日本語で「私は気に入る」と言うのを、ドイツ語では「それが (es) 私に (mir ← ich) 気に入る (gefällt)」と言います。「(あなたの) 気に入りましたか」は **Gefällt es Ihnen?** (Ihnen は Sie の 3 格) と言います。

hat~gefallen は「haben + 過去分詞」= 現在完了形です。

〔著者紹介〕

岩井 清治(いわい きよはる)

1942年、長野県に生まれる。明治大学大学院商学研究科博士課程修了。1972年から3年間にわたって西ドイツに留学。フライブルク大学で学ぶ。また、1985年には文部省短期在学研修員として再度ドイツ留学。現在、桜美林大学経済学部教授(商業史、経営史)、桜美林短期大学非常勤講師(ドイツ語)。主な著書に『西ヨーロッパ貿易風土論』(白桃書房)がある。

中野 久夫(なかの ひさお)

1929年、長野県に生まれる。信州大学工学部前身の長野工業専門学校2年修了、早稲田大学文学部卒業。外国語と精神分析学に興味を持つ。訳書に『ドラクーリデス・芸術家と作品の精神分析』(岩崎学術出版社)など、著書に『フランス語が面白いほど身につく本』(中経出版)、『英独仏露語入門』(駿河台出版社)、『芸術心理学入門』(造形社)、『現代マンガの心的世界』(新評社)、『日本歴史の精神分析』(時事通信社)などがある。現在は評論活動のほか、桜美林大学でフランス語、多摩美術大学で英語の講師を務める。

ドイツ語が面白いほど身につく本

〈検印省略〉

1992年9月24日 第1刷発行

1993年6月15日 第2刷発行

著 者 岩井 清治 中野 久夫

発行者 杉本 惇

〒102

発行所 (株)中経出版 東京都千代田区麴町3の2 相互麴町第一ビル

電話 03(3264)2771 (営業代表)

03(3262)2124 (編集代表)

FAX 03(3262)6855 振替 東京1-86836

乱丁本・落丁本はお取替えます。

本文写植版下／フォレスト 印刷／恵友社 製本／三森製本所

© 1992 Kiyoharu Iwai, Hisao Nakano, Printed in Japan.

ISBN4-8061-0620-8 C0084

〔著者紹介〕

岩井 清治(いわい きよはる)

1942年、長野県に生まれる。明治大学大学院商学研究科博士課程修了。1972年から3年間にわたって西ドイツに留学。フライブルク大学で学ぶ。また、1985年には文部省短期在学研修員として再度ドイツ留学。現在、桜美林大学経済学部教授(商業史、経営史)、桜美林短期大学非常勤講師(ドイツ語)。主な著書に『西ヨーロッパ貿易風土論』(白桃書房)がある。

中野 久夫(なかの ひさお)

1929年、長野県に生まれる。信州大学工学部前身の長野工業専門学校2年修了、早稲田大学文学部卒業。外国語と精神分析学に興味を持つ。訳書に『ドラクラーデス・芸術家と作品の精神分析』(岩崎学術出版社)など、著書に『フランス語が面白いほど身につく本』(中経出版)、『英独仏露語入門』(駿河台出版社)、『芸術心理学入門』(造形社)、『現代マンガの心的世界』(新評社)、『日本歴史の精神分析』(時事通信社)などがある。現在は評論活動のほか、桜美林大学でフランス語、多摩美術大学で英語の講師を務める。

ドイツ語が面白いほど身につく本

〈検印省略〉

1992年9月24日 第1刷発行

1993年6月15日 第2刷発行

著 者 岩井 清治 中野 久夫

発行者 杉本 惇

〒102

発行所 (株)中経出版 東京都千代田区麹町3の2 相互麹町第一ビル

電話 03(3264)2771 (営業代表)

03(3262)2124 (編集代表)

FAX 03(3262)6855 振替 東京1-86836

乱丁本・落丁本はお取替えます。

本文写植版下/フォレスト 印刷/恵友社 製本/三森製本所

© 1992 Kiyoharu Iwai, Hisao Nakano, Printed in Japan.

ISBN4-8061-0620-8 C0084

韓国語が面白いほど身につく本

コツさえわかれば、日本人にとって韓国語ほどやさしい言葉はない。日本人向けの韓国語教育で驚異の実績を上げる筆者が、最良の学習法で最短コースを教える本。〈カセット別売〉

韓 誠著 四六判／定価1000円

フランス語が面白いほど身につく本

世界でも有数の美しい言葉といわれるフランス語を、初歩から抵抗なく身につけられるように、単語から会話までやさしく丁寧に指導。気軽に楽しくフランス語の基本がマスターできる。〈カセット別売〉

中野久夫著 四六判／定価1000円

スペイン語が面白いほど身につく本

今人気の、スペイン語の基本文法から日常会話までを丁寧に解説。読書する感覚で読み進めていくうちに、自然にスペイン語が身につく。辞書がわりに使える「ミニ表現辞典」付き。〈カセット別売〉

中山直次著 四六判／定価1200円

英語は3秒で話せ！

国際企業ソニーが開発した英会話学習法に基づき、旅行や海外出張でよく使われる350のフレーズを紹介。いずれも「3秒」で話せる簡単なフレーズだが、これさえ覚えれば日常会話はもう大丈夫。

ソニー(株)教育事業室著 四六判／定価1100円

英語の基本が面白いほど覚えられる本

英語に関心はあるが自信がないという人のために、英語の基本を1日1回21日間にわたってレッスンする本。受験への対応に追われて曖昧になったままの基本ルールが身につく。〈カセット別売〉

田中建彦著 四六判／定価1200円

(いずれも消費税込み)

